

発達障害者の「皮膚感覚」の困難・ニーズに関する研究

—— 発達障害の本人調査から ——

笹ヶ瀬 菜生*・田部 絢子**・高橋 智***

特別ニーズ教育分野

(2014年9月30日受理)

1. はじめに

近年、発達障害を有する本人・当事者の手記が数多く出版され、これまで周囲から本人の「わがまま」「自分勝手」などと誤解されていたことが、発達障害者が有する「感覚情報調整処理障害（感覚の過敏・低反応、感覚統合障害）」や身体症状などの身体問題に大きく起因していることが次第に明らかとなり、そうした身体問題の実態と支援について、発達障害の本人・当事者調査を通しての解明も着手されている（高橋・増淵：2008，山下・田部・石川・上好・至田・高橋：2010，高橋・石川・田部：2011，高橋・田部・石川：2012，高橋・井戸・田部・石川・内藤：2014）。

さて、主要な感覚情報調整処理障害の一つに「皮膚感覚の過敏・低反応」がある。皮膚感覚は、生物進化の早い段階から備わっていると考えられる原始感覚と、意識的に触ってその特徴を認識することができる識別感覚という2種類の働きに分かれており、原始感覚と識別感覚から得た情報を使って身体各部の認識、行為機能、情緒の安定、社会的能力等の様々な力を発達させていく（クラノウイツ：2011）。

このような重要な役割を担う皮膚感覚は、古くから五感の一つとして認められていたが、最も分かりにくい感覚であるとされてきた。しかし、近年研究が進み、表皮自体に脳と同じ情報処理機能の存在があることなど、皮膚と脳の共通点が次々と発見されている（傳田：2005, 2007, 2013）。これらは、皮膚が発生的には脳や中枢神経系と同じく外胚葉から形成され、その広い面積で外界からの刺激を知覚することに由来するのではないかと考えられている。また、皮膚に分布している感覚受容器から知覚される外界の刺激は、脊髄から間脳を経て大脳皮質に至り認知される一方で、大脳辺縁系、視床、視床下部、脳下垂体へと刺激が伝わり、情動や自律神経系、免疫系、内分泌系に影響を与えることが分かってきた。したがって皮膚への刺激が心と体の両面に影響を与えると考えられる（山口：2004）

このように皮膚感覚に関する研究が進められ、そのメカニズムが徐々に明らかにされ始めている。皮膚感覚に関して発達障害の本人・当事者の手記に着目すると、皮膚感覚に関する多様な困難の実態が浮かび上がってくる。例えば、アスペルガー症候群の当事者であるニキ・リンコ／藤家寛子（2004）は「雨やシャワーが痛い」「肩をたたかれただけで悲鳴を上げるくらい驚いた」と述べ、自閉症当事者のドナ・ウィリアムズ（2000）は「どんな触れられ方であれ痛いと感じ、怖かった」と触覚の過敏さを挙げている。

ジェーン・エアーズ（A. Jean Ayres, 1983）は触覚に対する過敏さを触覚防衛とよび、その背景として、通常は皮膚から脳への二つの伝導路のうち識別感覚系は原始感覚系が暴走しないようにブレーキをかける仕組みが備わっているが、原始感覚系と識別感覚系が脳の中で統合されていないために、本能的・防衛的な原始感覚系の働きが随所で現れてしまうことに起因するとした。そして、学習障害児の注意の散漫さや、落ち着きのな

* 浜松市立有玉小学校
** 大阪体育大学健康福祉学部
*** 東京学芸大学（184-8501 小金井市貫井北町 4-1-1）

さ、すぐに怒りだすといった様子と触覚に対する過敏さとの間に密接な関係があると考えた。触覚識別能力の改善のためには、ボールプール、粘土あそびやフィンガーペインティングなど能動的触覚体験を積む活動が行われている(岩永:2010, 2014)。

また動物学者であり、自ら「締めつけ機」を開発した自閉症当事者であるテンプル・グランディンは「締めつけ機の圧迫感を受け入れると鎮静と安心感が広がる」と述べ(テンプル・グランディン, マーガレット・M・スカリアーノ:1994), アスペルガー症候群当事者のトーマス・A・マッキーン(2003)は「体に常に走っている弱い痛みに対処するために圧迫を渴望している」と特有の身体感覚を訴え、その対応として圧迫刺激を求めている。

これに関連して、発達障害児のタッチケア、マッサージに関する研究が行われ、皮膚感覚に対する刺激の効果(社会性やコミュニケーション、睡眠障害などの改善)が報告されている(越野:2010)。例えばFieldら(1998)は、ADHDの青年がマッサージセラピーから得る効果を多動傾向の減少や「より心地よくなった」という本人評価から報告した。また皮膚と皮膚の接触によるコミュニケーションであるタクティールマッサージが広く流布しているスウェーデンにおいて、Von Knorringら(2008)が自閉症の就学前の子どもへのマッサージを12カ月にわたって行い、子どもたちは次第に触れられることによる心地よさを体験し、相互に受け入れ、楽しむ様子が見られたことから、身体問題や社会性・攻撃性において効果があることを示した。

マッサージにより副交感神経が優位になり、安心感や穏やかさがもたらされるとコルチゾールの減少によるストレスの緩和、神経伝達物質のセロトニンやドーパミンの増加、オキシトシンが全身をめぐることなどが研究されてきている(Field:2010)。

このように、皮膚の働きやそのメカニズムに関して、またマッサージ等の皮膚感覚への刺激の効果について研究が進められ、皮膚は外界と自己をつなぎ、情動や自律神経系、免疫系、内分泌系にも大きな影響を与えることが徐々に明らかになってきている。しかし、発達障害の本人が抱えている皮膚感覚の各種の困難・ニーズや求めている支援の検討は、ほとんどなされていないのが現状である。それゆえに本稿では、発達障害を有する本人への調査を通して、発達障害の本人が有する皮膚感覚に関する多様な困難・ニーズの実態や発達障害の本人が求めている支援を明らかにしていく。

2. 方 法

- (1) 調査対象：発達障害(アスペルガー症候群、高機能自閉症、その他広汎性発達障害、LD、ADHD、軽度の知的障害)の診断・判定された方で、発達障害についての認識・理解を有する高校生以上の当事者であり、自身の皮膚感覚に関する困難・ニーズを振り返って調査回答することが可能な方。東京学芸大学の学部・専攻科・大学院に在学中で発達障害教育関係の講義を受講している学生にも同様の質問紙調査を実施し、結果を比較検討した。
- (2) 調査内容：A. 皮膚感覚の困難の実態に関する調査内容：①触覚(能動触、受動触)、②圧覚、③温覚・冷覚、④痛覚、⑤物理的距離。B. 皮膚感覚の困難の理解・支援に関する調査内容：①触覚(能動触、受動触)、②圧覚、③温覚・冷覚、④痛覚、⑤物理的距離。
- (3) 調査方法：質問紙調査法。刊行されている発達障害者本人の手記をほぼ全て検討し、皮膚感覚に関してどのような困難・ニーズを有しているのかを把握し、それらをもとに質問紙調査票「皮膚感覚の困難・ニーズに関するチェックリスト」全211項目を作成した(文末の調査票を参照)。事前に、発達障害の本人・当事者団体、発達障害支援関係団体などの協力を得ながら質問紙の妥当性についての検討をいただいた。調査結果の分析には、対象間の比較を行うために χ^2 検定とオッズ比推定を用い、項目間の比較を行うために残差分析を用いた。
- (4) 調査期間：2012年11月～2013年1月。

(5) 回収状況：発達障害の本人・当事者団体，発達障害支援関係団体などの協力を得ながら質問紙調査を実施した。発達障害の診断・判定を有する本人124名（平均年齢25.6歳，男性93名，女性31名），東京学芸大学の学部・専攻科・大学院に在学して発達障害教育関係の講義を受講している学生113名（平均年齢22.9歳，男性28名，女性86名）から回答を得た。発達障害の診断・判定を有する本人124名の障害の内訳（重複の場合を含み複数回答あり）は，アスペルガー症候群36名，高機能自閉症15名，その他の広汎性発達障害37名，LD15名，ADHD20名，軽度の知的障害19名，その他14名である。

3. 皮膚感覚の困難の実態に関する調査の結果

「皮膚感覚の困難に関するチェックリスト」の結果を，発達障害本人と受講学生との大項目別のチェック率の平均を比較すると，いずれの大項目においても，発達障害本人は受講学生に比べ，約3倍から8倍のチェック率となり，発達障害本人のチェック率が顕著に高いことが明らかとなった。最も平均チェック率の高い大項目は物理的距離であり，発達障害本人と受講学生とのチェック率の平均との差が最も大きい大項目は圧覚の8.3倍であった。

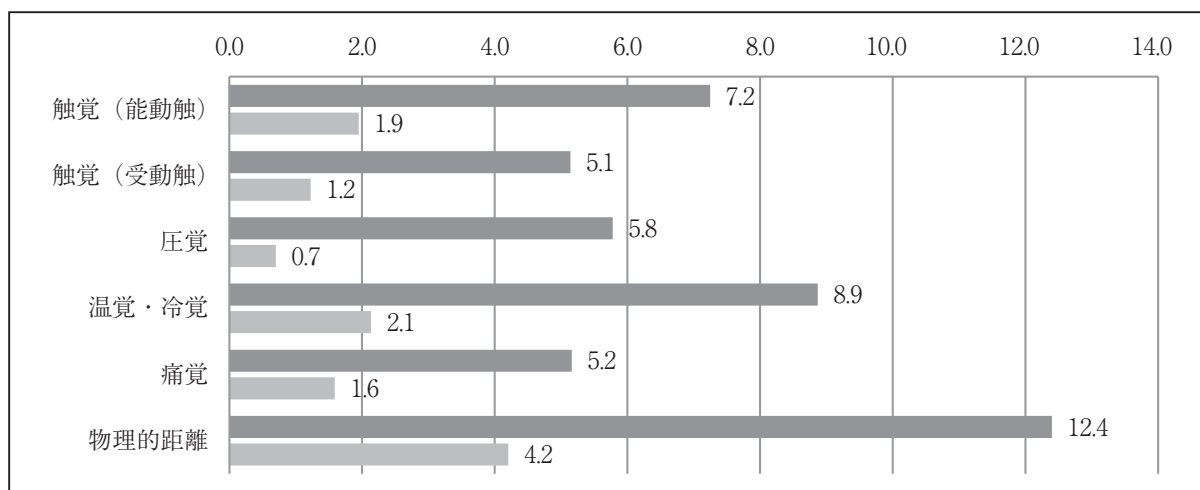


図1 発達障害本人（上）と受講学生（下）との平均チェック率比較（%）

3. 1 触覚に関する困難

3. 1. 1 能動触

触覚における能動触（自ら触れるまたは無意識に触れているもの，他者から触れられる以外の接触）に関する調査項目全82項目のうち，発達障害本人のチェック率が最も高かった項目は「032. 首にタグが触れるのはちくちくして耐えられない」25.0%，次いで「053. チョークの粉が苦手である」24.2%，「031. 服が濡れたときに肌に張り付くのはどうしても我慢できない」19.5%と続く。その他，「016. ウールの服のざらっとした生地は，ちくちくと痛みを感じるからまったく着られない」「055. ぬるぬるした感触のものは苦手である」がともに16.4%，「054. ねとねとした感触のものは苦手である」「068. 食べ物の汁がちょっとでも口の周りや手先につくと，落ち着かず，いちいち拭かないと気がすまない」がともに15.6%と上位に入っている。さらに「038. ちくちくした服が苦手だから，セーターというものは所持していない」「040. タイトなジーンズは履けない」「069. 料理は好きだが，肉をさわったりすると，すぐに洗剤をつけて手を洗わないと気がすまない」がともに14.8%と続いている。

発達障害本人と受講学生のチェック率を χ^2 検定によって分析し， χ^2 値の高かった上位10項目をまとめたものを図2に示した。この10項目はいずれも1%水準で有意差がみられた。 χ^2 値の大きい項目ほど，発達障害本人の有する皮膚感覚に関する困難・ニーズについて周囲からの理解が得られず，困難度も高いと考えられる。

最も困難度の高かった項目は「031. 服が濡れたときに肌に張り付くのはどうしても我慢できない」16.8，次

いで「038. ちくちくした服が苦手だから、セーターというものは所持していない」15.5, 「001. 髪の毛が肌にわずかに触れても苦痛である」「035. ひだ飾り, 紐, レース, ポリエステル, ワイヤー, ホック, フリルが嫌い」がともに13.2であった。さらに「070. 濡れるのがとても苦手である」12.2, 「030. 服がちょっとでもぬれたり汚れたりしたら我慢できない」12.0と続いている。

オッズ比を用いて分析し, 有意差が見られた項目に関して, オッズ比の上位10項目までを示したものが図3である。最もオッズ比の高くなった項目は「001. 髪の毛が肌にわずかに触れても苦痛である」「035. ひだ飾り, 紐, レース, ポリエステル, ワイヤー, ホック, フリルが嫌い」がともに29.0であった。次いで「070. 濡れるのがとても苦手である」26.8, 「033. 服の裏の縫い目のでこぼこが痛い」22.4, 「038. ちくちくした服が苦手だから, セーターというものは所持していない」19.7, 「024. 服の裏側に針みたいなのがあり, ちくちくと肌に刺ささるような痛い感覚なため, 着られない服が多数あった」11.7と続いている。その他, 「015. 純毛の衣服は我慢できない」, 「019. ポリエステルの服が苦手である」がともに9.6と続き, 衣類・装飾品などに関する項目が多く挙がっている。

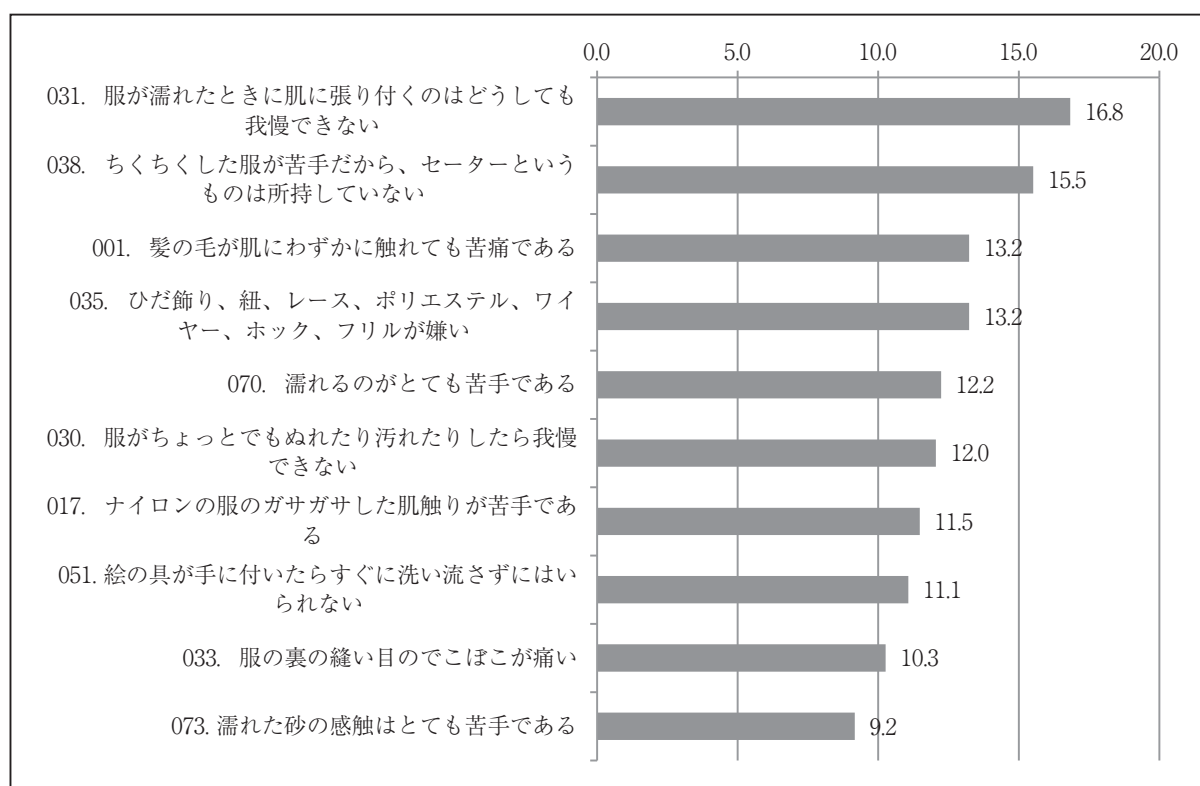


図2 能動触に関する困難の χ^2 値比較

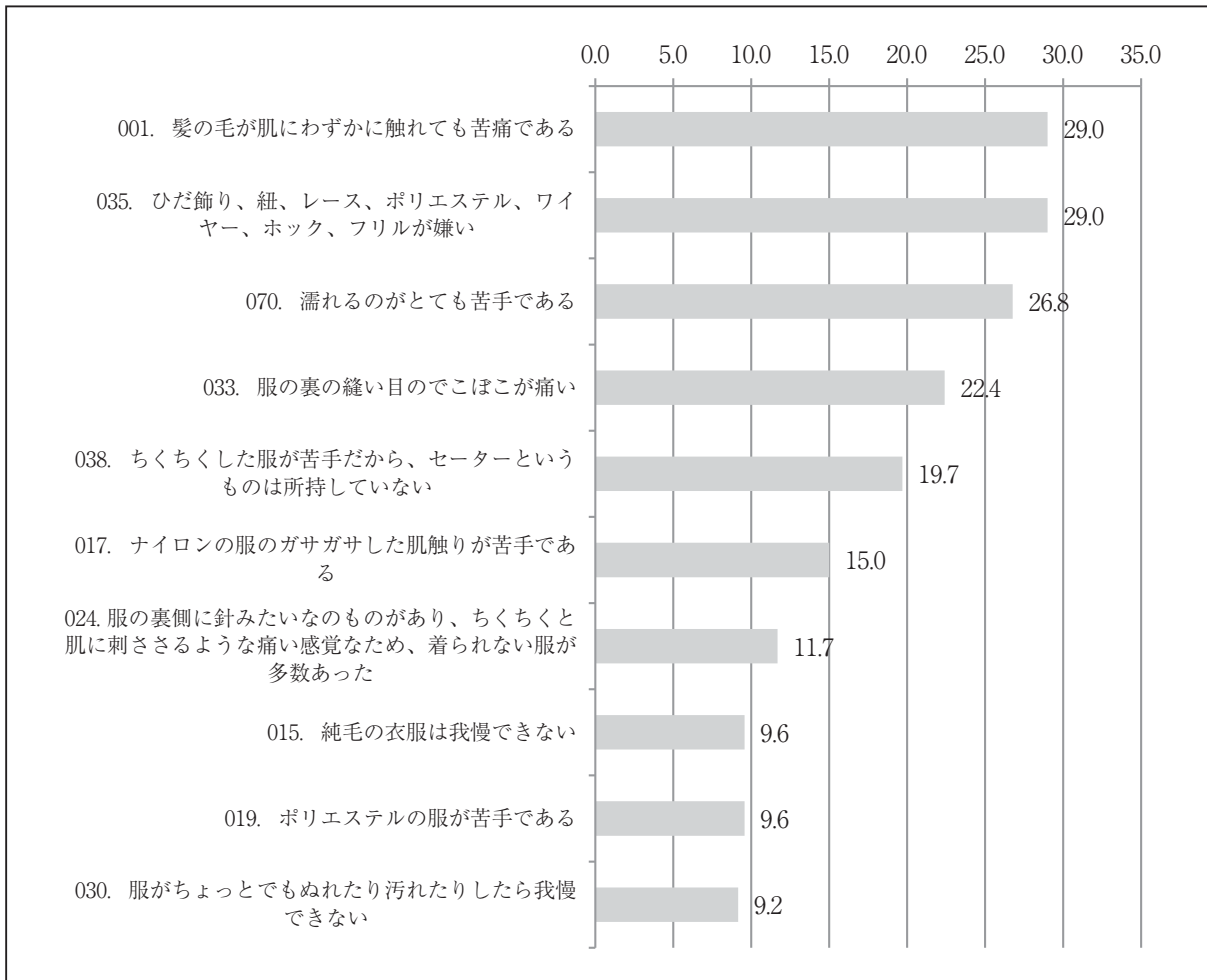


図3 能動触に関する困難のオッズ比比較

3. 1. 2 受動触

受動触（自分以外の他者から触れられる、接触されること）の調査項目全16項目のうち、本人のチェック率が最も高かった項目は、「089. 後ろから突然肩を触れられたら背筋が凍りつくほど驚く」14.1%、次いで「086. 軽く触れられると過剰にくすぐったくて辛い」10.9%となっている。その他、「090. 好きな人でも、肩を抱かれるのも、手を繋がれるのも嫌である。体に触れられると思うと相手が誰であれ緊張する」「091. 初めての人と握手することができない」がともに7.8%と続いている。

χ^2 検定の結果を示したのが図4である。最も困難度の高い項目は「086. 軽く触れられると過剰にくすぐったくて辛い」8.2、次いで「089. 後ろから突然肩を触れられたら背筋が凍りつくほど驚く」8.1、「084. 一瞬触れられるだけでも電気が走ったようにビリッとなる」7.4と続いている。その他、「090. 好きな人でも、肩を抱かれるのも、手を繋がれるのも嫌である。体に触れられると思うと相手が誰であれ緊張する」「091. 初めての人と握手することができない」がともに6.7であった。図4で示した項目のうち上位5項目が1%水準、下位3項目は5%水準で有意差がみられた。

オッズ比を用いて比較した結果を示したものが図5であり、すべて5%水準で有意差が出ている。最もオッズ比が高くなったのは「090. 好きな人でも、肩を抱かれるのも、手を繋がれるのも嫌である。体に触れられると思うと相手が誰であれ緊張する」「091. 初めての人と握手することができない」9.6であった。次いで「088. 肩を触られるのが異様に嫌いである」8.5、「086. 軽く触れられると過剰にくすぐったくて辛い」6.9と続いている。

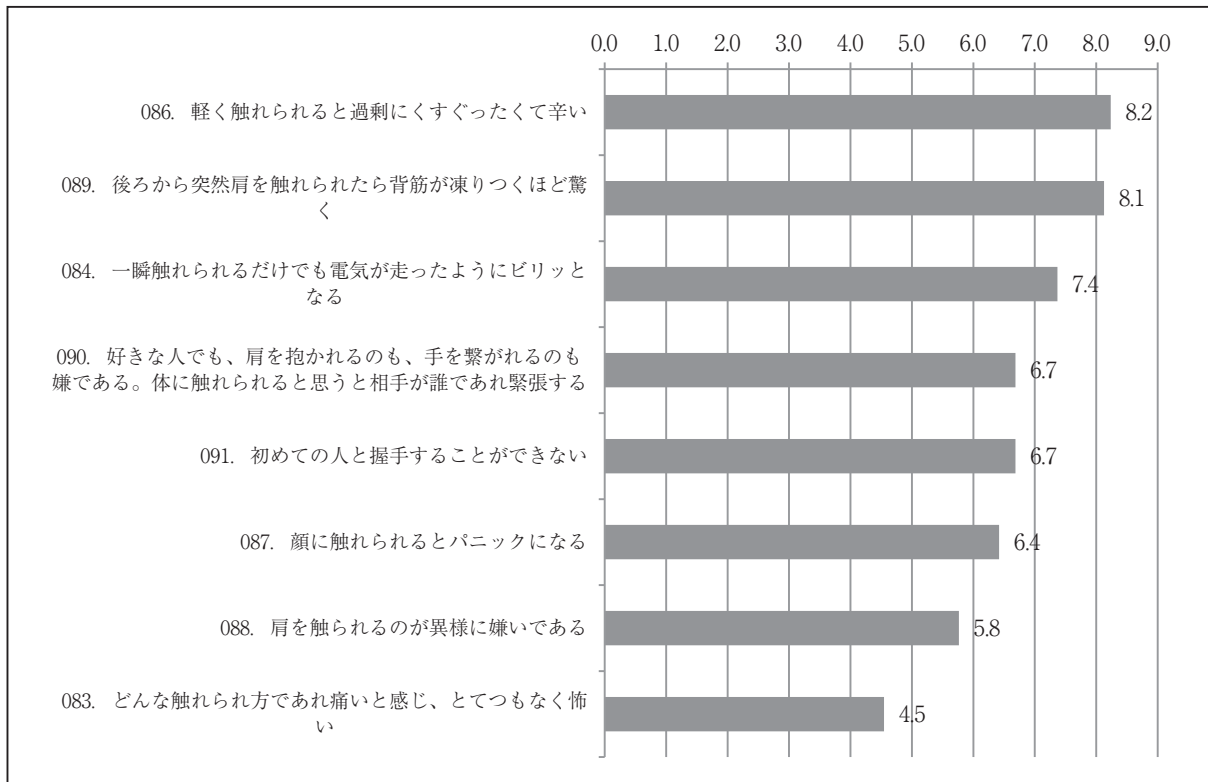


図4 受動触に関する困難のχ²値比較

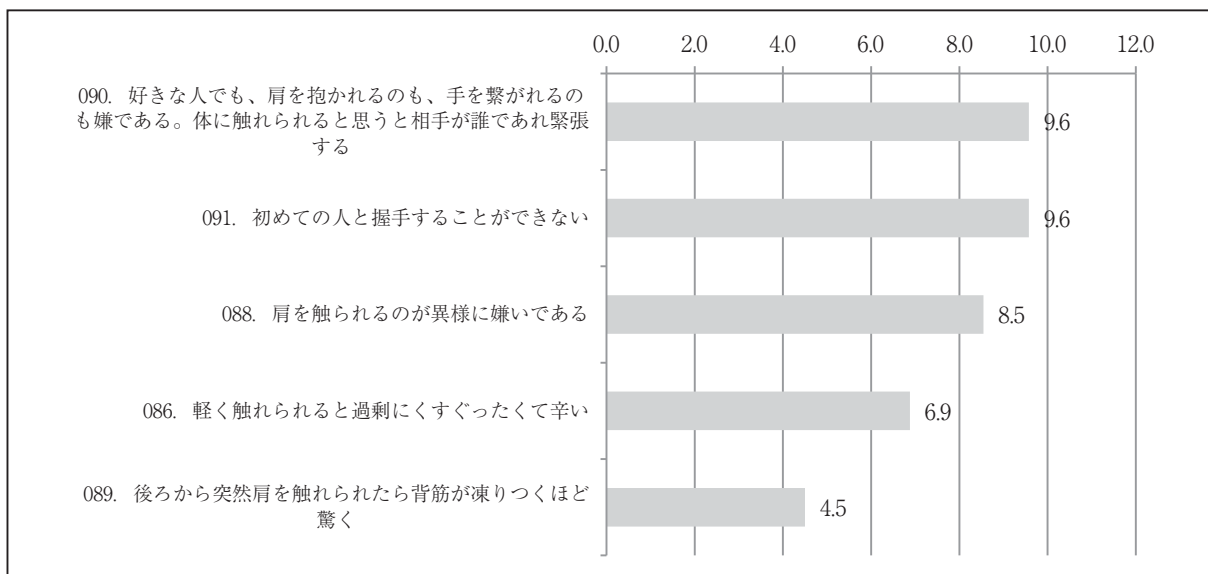


図5 受動触に関する困難のオッズ比比較

3. 2 圧覚に関する困難

圧覚の調査項目全12項目のうちチェック率が最も高かったのは「110. 低気圧がくるときは空気がいつもよりも重く、全身にずっしりとまとわりつくように感じる」16.4%，次いで「106. ゴム手袋や指サックは嫌いである」10.9%，「105. 毛糸のピッタリとした手袋はムズムズして気持ち悪くなり苦手である」9.4%となった。その他、受講学生のチェック率0.0%である項目について、発達障害本人では「107. 靴下は痛い」5.5%，「100. パンツのゴムでさえ、全身の血がとめられるような感じがして苦しくなる」「104. ベルトはとてつもなく嫌いである」「102. 帽子は痛い」がともに4.7%のチェック率であった。

χ^2 検定の結果が図6である。「106. ゴム手袋や指サックは嫌いである」13.2が最も高く、次いで「110. 低気圧がくるときは空気がいつもよりも重く、全身にずっしりとまとわりつくように感じる」9.1, 「107. 靴下は痛い」6.4, そして「100. パンツのゴムでさえ、全身の血がとめられるような感じがして苦しくなる」「102. 帽子は痛い」「104. ベルトはとても嫌いである」「108. ストッキングは締め付けられ、足をかみつかれたように感じるから履かない」がいずれも5.5である。図6の項目は上位2項目までが1%水準で有意差があり, 残り6項目は5%水準で有意差がみられた。

オッズ比を用いて比較した結果を示したものが図7である。最もオッズ比が高くなった項目は「106. ゴム手袋や指サックは嫌いである」29.0, 次いで「110. 低気圧がくるときは空気がいつもよりも重く、全身にずっしりとまとわりつくように感じる」4.3, 「105. 毛糸のピッタリとした手袋はムズムズして気持ち悪くなり苦手である」3.8となった。図7の項目はすべて5%水準で有意差がみられた。

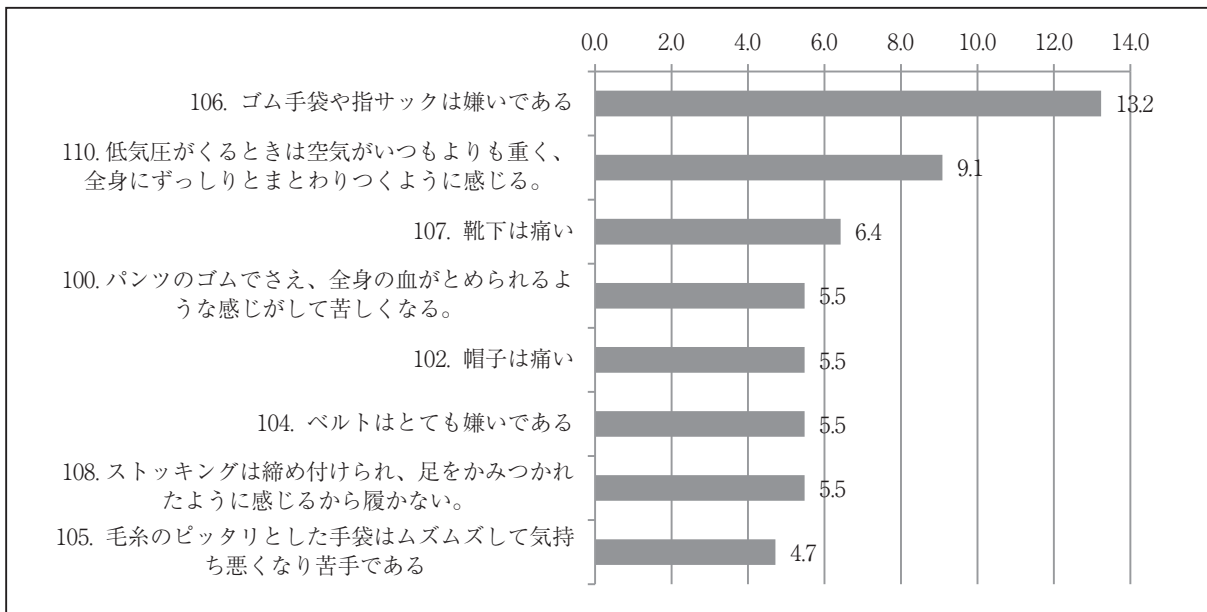


図6 圧覚に関する困難の χ^2 値比較

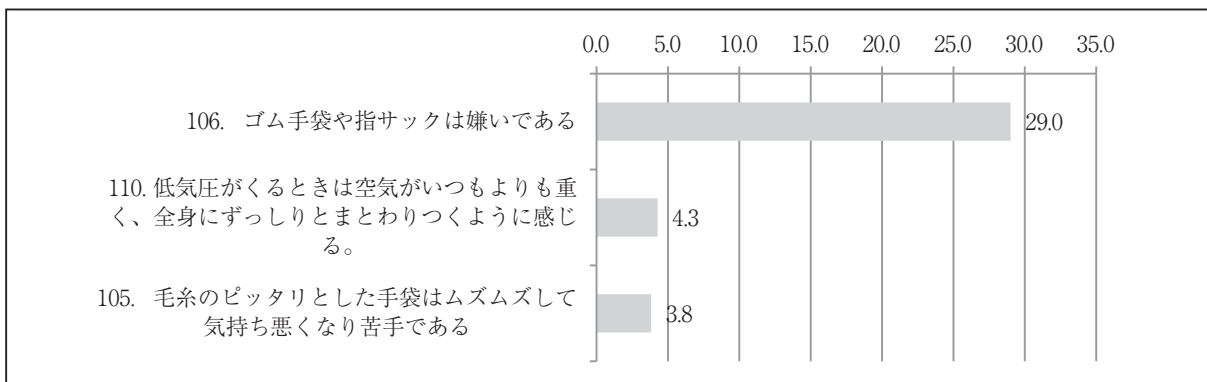


図7 圧覚に関する困難のオッズ比比較

3. 3 温覚・冷覚に関する困難

温覚・冷覚に関する調査項目全7項目のうち、チェック率が最も高くなった項目は「116. 入浴の際、お湯の熱さに慣れるまでしばらく時間がかかる」16.4%, 次いで「112. 自分で体温調節をすることができない」12.5%, 「111. 外部と自分の身体との温度差に過剰に反応する」10.2%, 「114. 暖房で体が温まると皮膚がかゆくなり不安になる」8.6, 「115. お風呂のお湯が普段より一度上がっていても体がかゆくなる」7.8となった。

χ^2 検定による結果を示したのが図8である。「116. 入浴の際、お湯の熱さに慣れるまでしばらく時間がかかる」15.1が最も高く、次いで「112. 自分で体温調節をすることができない」8.1、「111. 外部と自分の身体との温度差に過剰に反応する」7.3となり、いずれも1%水準で有意差がみられた。さらに、有意差5%水準で「115. お風呂のお湯が普段より一度上がっていても体がかゆくなる」4.7、「113. 日光にあたると体がかゆくなりとても不快になる」4.0が挙げた。

さらに、オッズ比を用いて比較した結果を示したものが図9である（いずれの項目も5%水準で有意差がみられた）。最もオッズ比が高くなったのは「116. 入浴の際、お湯の熱さに慣れるまでしばらく時間がかかる」11.0、次いで、「111. 外部と自分の身体との温度差に過剰に反応する」6.3、「112. 自分で体温調節をすることができない」5.3、「115. お風呂のお湯が普段より一度上がっていても体がかゆくなる」4.7と続いた。

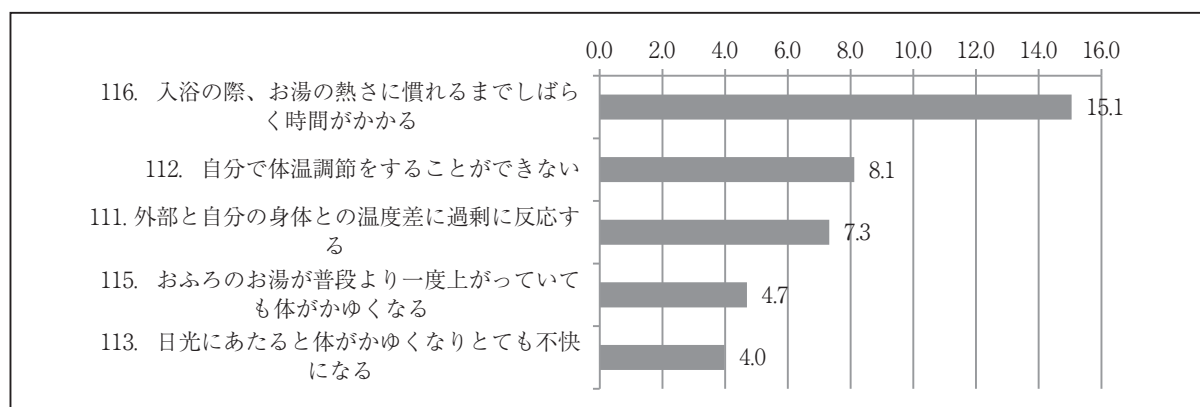


図8 温覚・冷覚に関する困難の χ^2 値比較

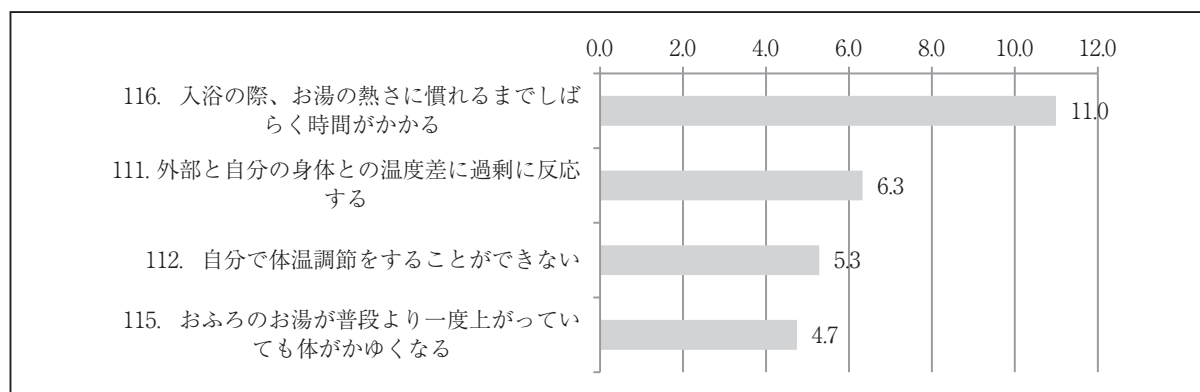


図9 温覚・冷覚に関する困難のオッズ比比較

3. 4 痛覚に関する困難

痛覚の調査項目全10項目のうち、チェック率が最も高かった項目は「118. すり傷、切り傷、打ち身は日常茶飯事だが、気づかない」15.6%、次いで「127. 身体のあちこちが常にかゆい」11.7%、「123. 注射をしても注射針が体に刺さっている感じも痛みもあまり感じない」6.3%、「119. 教えてもらうまで痛みを感じたり、痛み気付くことができない」5.5%、「120. 大きなけがをしても痛みの感覚がなく、血が流れている感覚で気付く」3.9%となった。

χ^2 検定の結果、有意差が見られた項目を示したものが図10である。「127. 身体のあちこちが常にかゆい」9.2が最も高く、有意差も1%水準でみられた。次いで「118. すり傷、切り傷、打ち身は日常茶飯事だが、気づかない」5.5、「123. 注射をしても注射針が体に刺さっている感じも痛みもあまり感じない」4.9となり、いずれも5%水準で有意差がみられた。

オッズ比を用いて分析した結果, 5%水準で有意差が見られた項目は2項目あり(図11), 「127. 身体のあちこちが常にかゆい」7.4が高く, 次に「118. すり傷, 切り傷, 打ち身は日常茶飯事だが, 気づかない」となった。

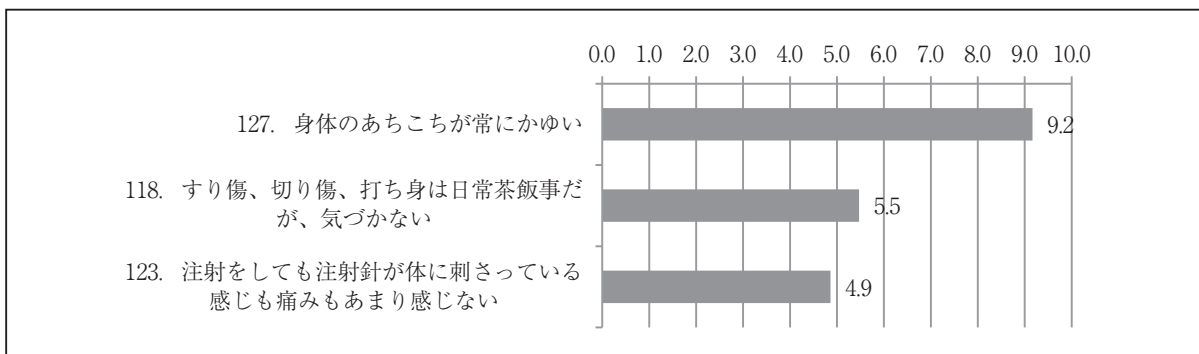


図10 痛覚に関する困難の χ^2 値比較

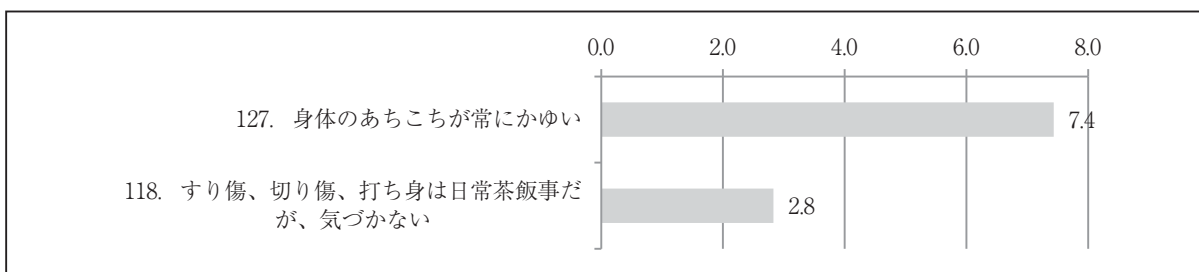


図11 痛覚に関する困難のオッズ比比較

3. 5 物理的距離に関する困難

物理的距離に関する調査項目全8項目のうち, チェック率の最も高い項目は「128. 人から近寄られるのは好きではない」24.2%, 次いで「129. 電車で人に挟まれて座るのは耐え難く苦痛である」21.2%, 「135. 混雑した場所では, 人や物をうまくよけられずにつぶかったり, 足を踏まれたりする」20.3%, 「133. 相手の空間に入り込んでいることに気づかずに, 相手に近寄りすぎることがある」15.6%, 「134. 人との物理的距離感がわからずにつぶかってしまう」13.3%と続いている。

χ^2 検定の結果を示したものが図12である。「129. 電車で人に挟まれて座るのは耐え難く苦痛である」16.7が最も高く, 次いで「133. 相手の空間に入り込んでいることに気づかずに, 相手に近寄りすぎることがある」11.8, 「135. 混雑した場所では, 人や物をうまくよけられずにつぶかったり, 足を踏まれたりする」7.5, 「128. 人から近寄られるのは好きではない」6.7となり, これらは1%水準で有意差がみられた。また「134. 人との物理的距離感がわからずにつぶかってしまう」5.8は, 有意差が5%水準でみられた。

オッズ比を用いて分析した結果が図13である。上から順に「129. 電車で人に挟まれて座るのは耐え難く苦痛である」7.4, 「133. 相手の空間に入り込んでいることに気づかずに, 相手に近寄りすぎることがある」6.9, 「134. 人との物理的距離感がわからずにつぶかってしまう」3.3, 「135. 混雑した場所では, 人や物をうまくよけられずにつぶかったり, 足を踏まれたりする」3.0, 「128. 人から近寄られるのは好きではない」2.5の順となっている。これらは, すべて5%水準で有意差がみられた。

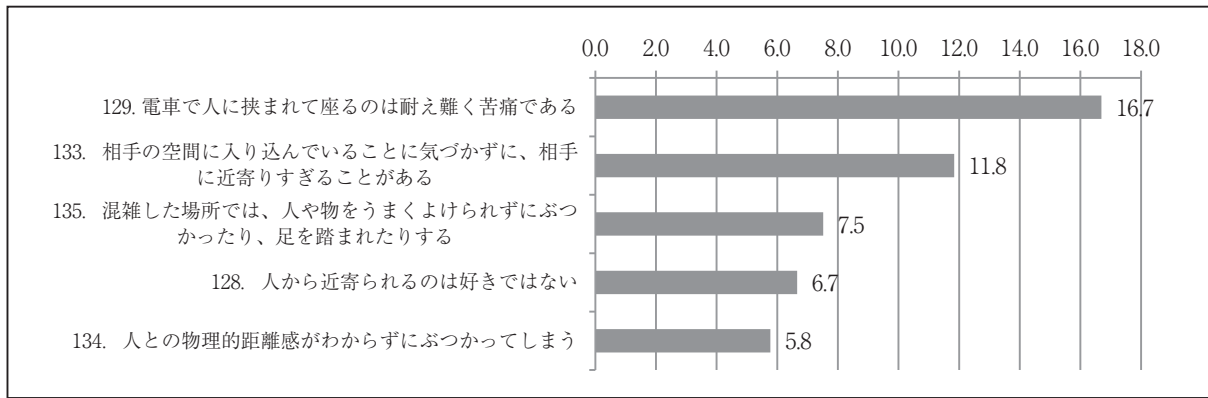


図12 物理的距離に関する困難のχ²値比較

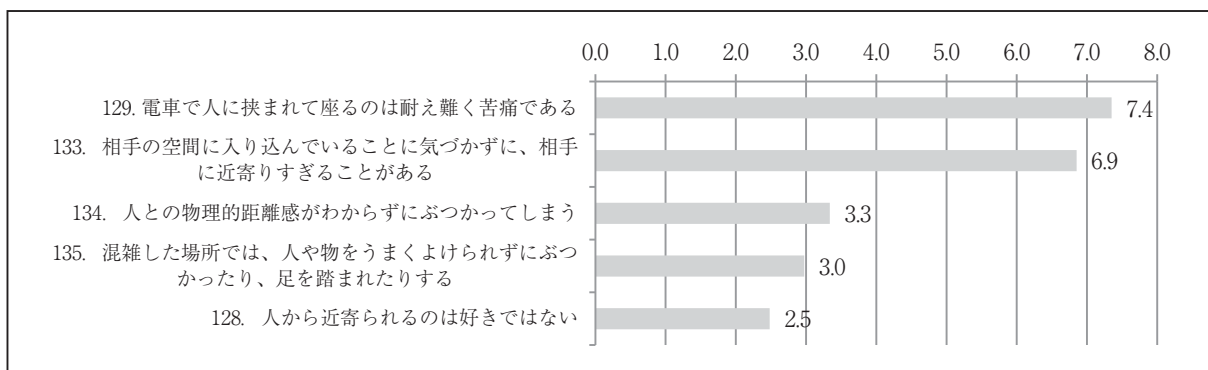


図13 物理的距離に関する困難のオッズ比比較

3. 6 全項目の中で皮膚感覚に関する困難度の高い20項目

全項目における困難度の高い20項目について χ^2 値比較で示したのが図14, オッズ比比較で示したのが図15である。

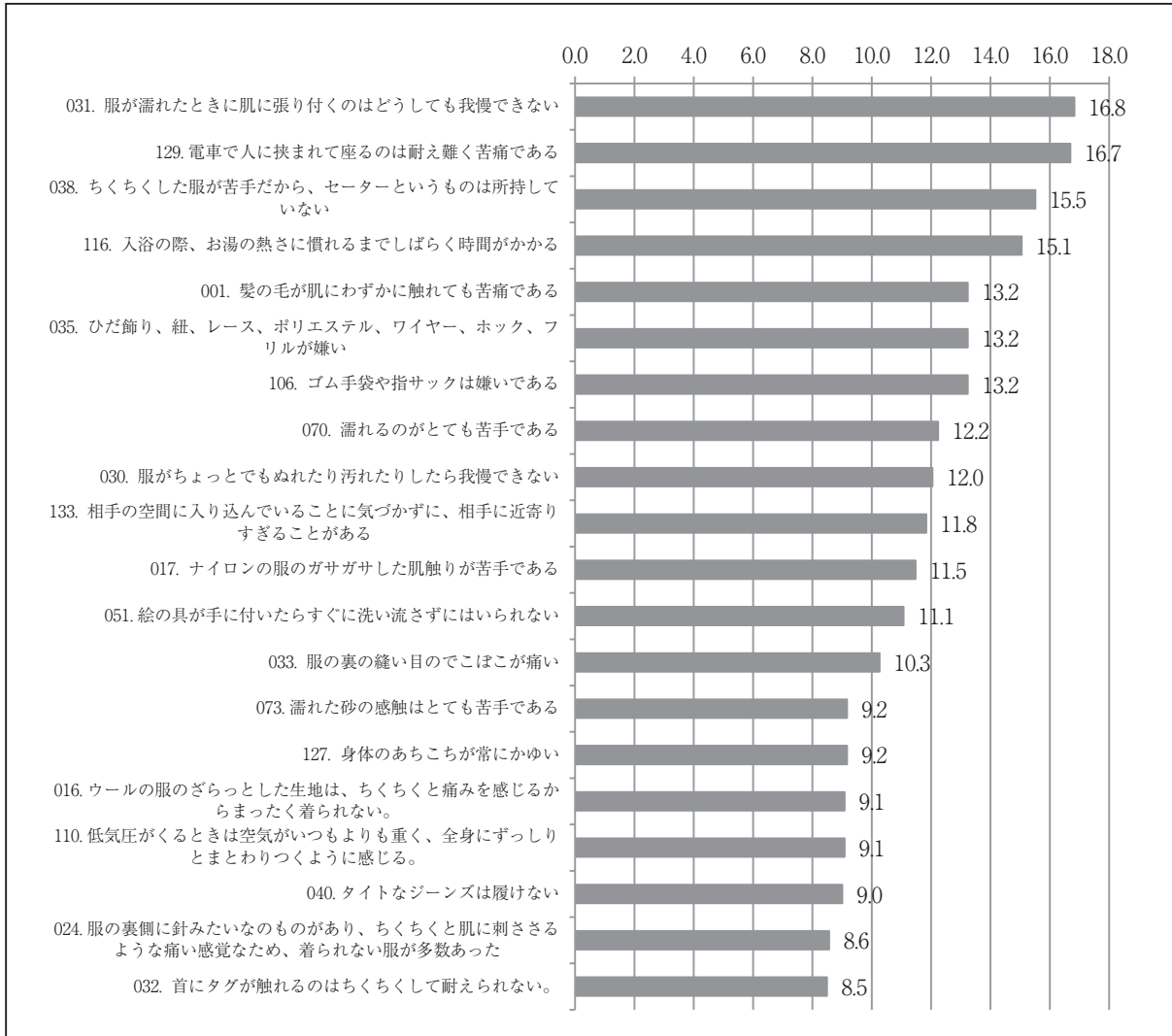


図14 全項目の中で皮膚感覚に関する困難度の高い20項目 (χ^2 値比較)

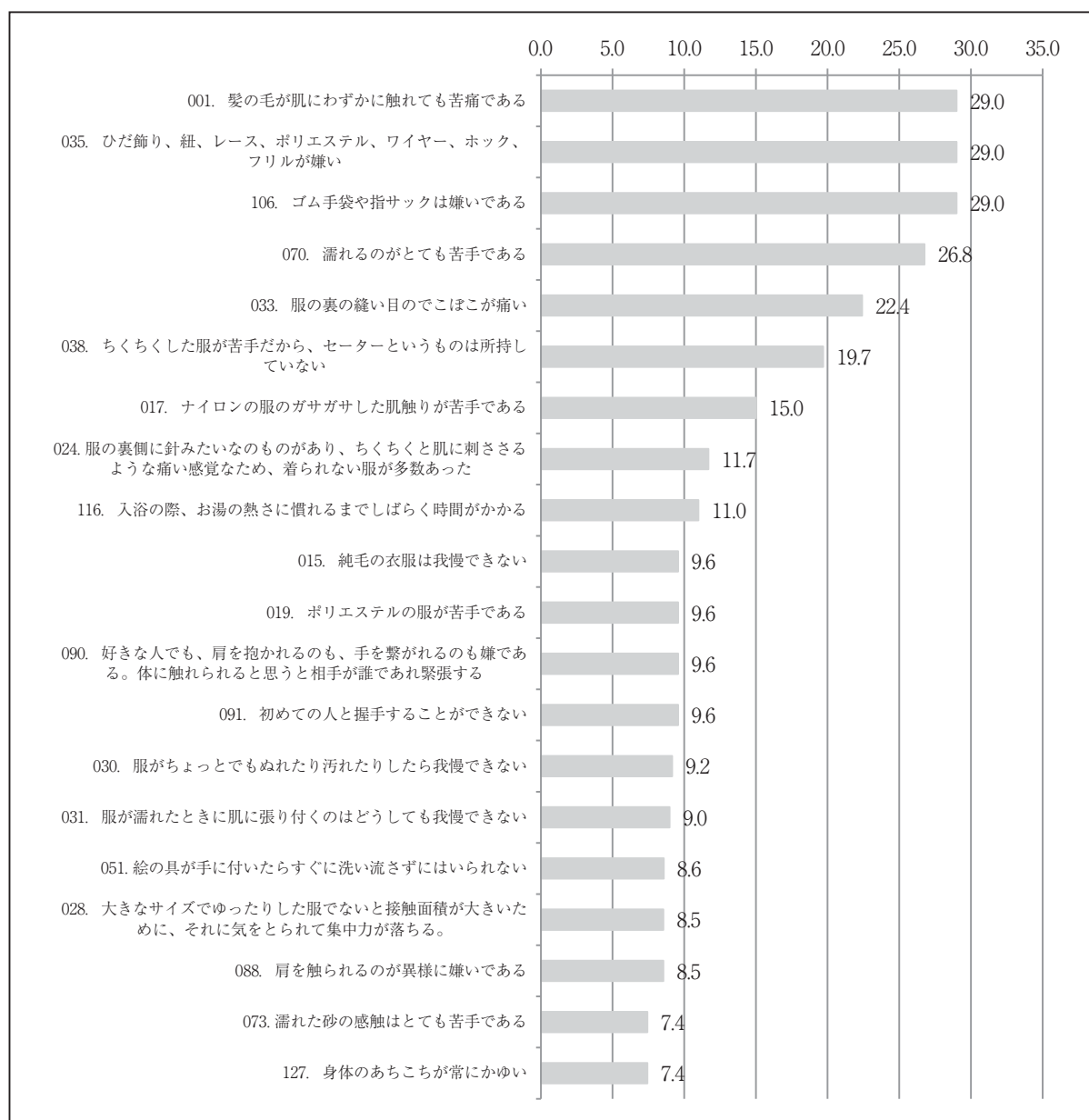


図15 全項目の中で皮膚感覚に関する困難度の高い20項目 (オッズ比比較)

4. 皮膚感覚の困難の理解・支援に関する調査の結果

4. 1 触覚に関する理解・支援

4. 1. 2 能動触に関する理解・支援

本人のチェック率が最も高くなった項目は「160.好きな感触の毛布やマット、ふわふわのぬいぐるみ等があると安心できる」29.7%、次いで「166.犬や猫の毛をなでると落ち着く」26.6%、「158.毛布にすっぽり包まれている感触は、体調や気分の悪さから気を紛らわしたり、不安を和らげたり、すり減った神経を休めたり、ピリピリ・イライラした感情をなだめたりする効果がある」22.7%、「162.やわらかな枕にできるだけ深く頭を沈みこませると落ち着く」14.8%、「156.シーツのやわらかい感触に足の指をすべらせるのが好きである」14.1%、「148.下着や上着は同じ素材でいくつかの色や柄で数枚買いそろえている」13.3%、「144.洋服のタグは外す。タグを外せない物は買わない」12.5%と続いている。

次に、能動触の理解・支援ニーズの項目のうち、 χ^2 検定の結果、上位10項目を示したものが図16である(上位8項目が1%水準で有意差があり、残り2項目は5%水準で有意差が見られた)。「148.下着や上着は同

じ素材でいくつかの色や柄で数枚買いそろえている」15.3が最も高く、次いで「144. 洋服のタグは外す。タグを外せない物は買わない」12.5, 「154. ざらざらとしたカーペットは気持ちよい。カーペットの繊維に体をこすられるのが心地良い」9.3, 「139. 液状の石鹸なら固形程には痛くはなく使える」「163. 汗をかくと痛いので、帰宅するとまずシャワーを浴びる」がともに8.4で続いている。

オッズ比を用いて比較し、有意差が見られたものをオッズ比の高い順に並べたものが図17である（項目はすべて5%水準で有意差がみられた）。最もオッズ比の高い項目は「164. おふろは床やマットが濡れる前に入り、バスマットはすぐに水分を吸い取り、濡れた感触のしないものを使用している」36.0, 次いで「158. 毛布にすっぽり包まれている感触は、体調や気分の悪さから気を紛らわしたり、不安を和らげたり、すり減った神経を休めたり、ピリピリ・イライラした感情をなだめたりする効果がある」22.4, 「173. 本の背表紙の溝に指を滑らせると、滑らかでまっすぐで、心を落ち着かせてくれる感触である」20.3, 「149. 不安なときや孤独なときは、革のジャケットのなめらかな手触り、コートポケットの内側に張られているすべすべの裏地など服の感触が慰めになってくれる」20.3, 「168. 手のひらで硬くてざらざらした木肌をなでたり、溝を指先でなぞったりするのが好きである」16.1が上位に挙がっている。

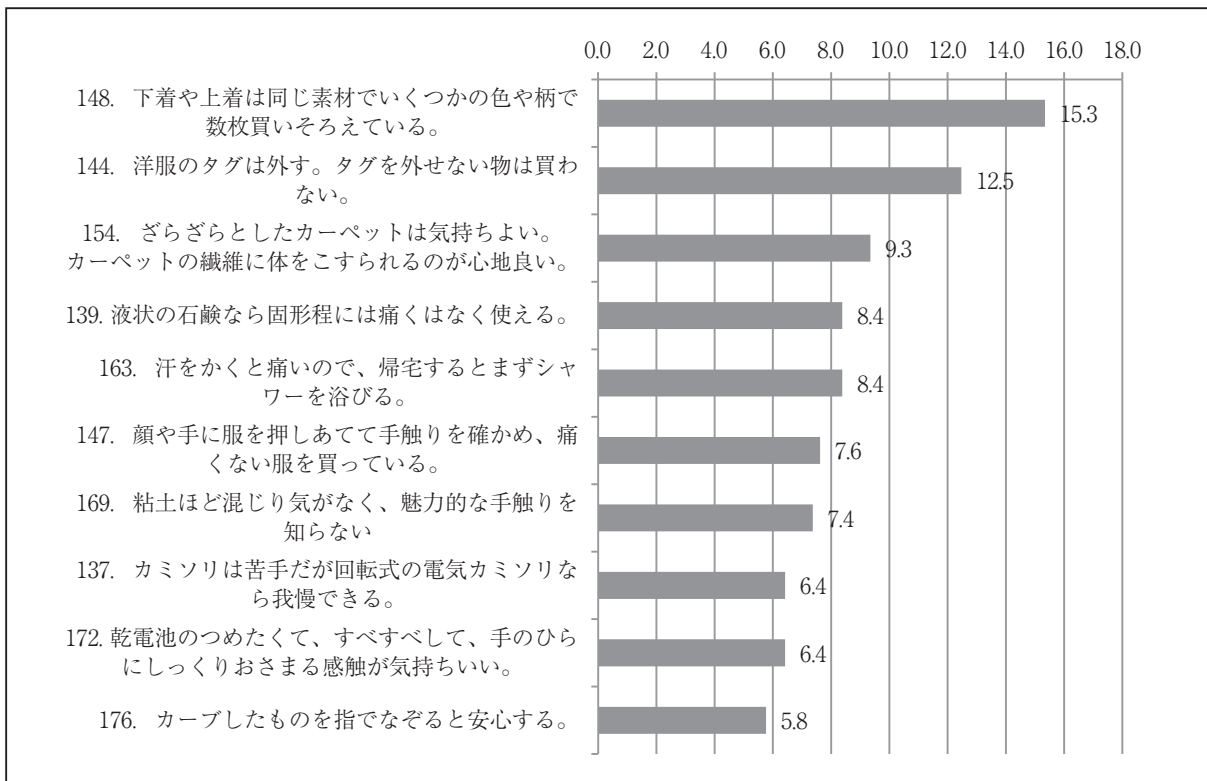


図16 能動触に関する理解・支援の χ^2 値比較

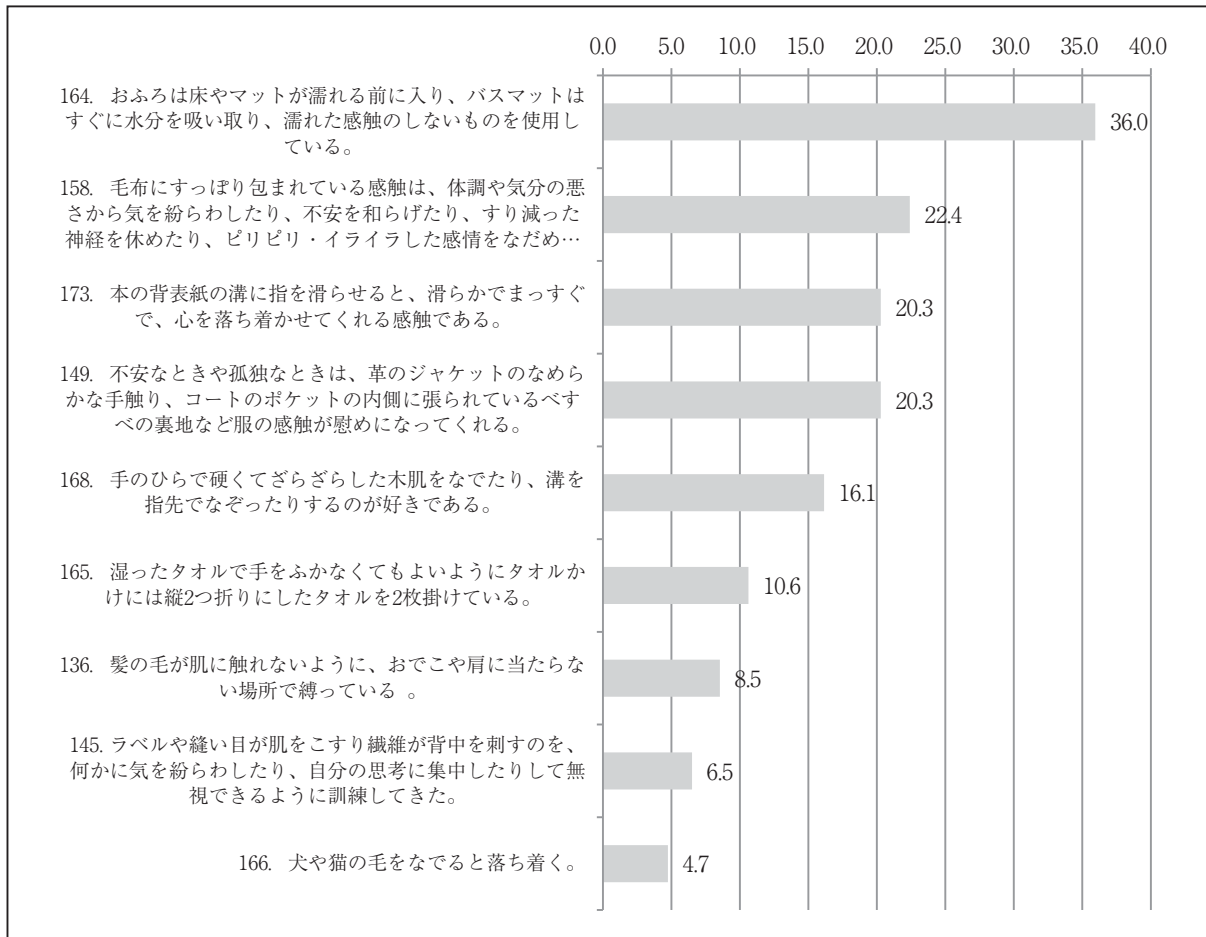


図17 能動触に関する理解・支援のオッズ比比較

4. 1. 2 受動触に関する理解・支援

チェック率が高かった項目は「179. 動揺しているときに、手をつないで励ましてもらえると安心できる」「184. ぎゅーと静かに抱きしめられると安心する。長くやるとより安心する」がともに18.8%であった。次いで「177. 頭をなでられると落ち着く」14.8%、「183. そっと抱いてもらうことが、どんな薬やセラピーより、何よりも役に立ってくれる」11.7%、「180. お医者さんの診察では、診察のために触れる、と説明されれば、その場は耐えられる」10.9%、「178. フラッシュバックになったとき、背中をさすってもらくと安心できる」10.2%と続いている。

χ^2 検定による結果を示したものが図18である（上位2項目は1%水準で有意差がみられ、下位2項目は5%水準で有意差が見られる）。「180. お医者さんの診察では、診察のために触れる、と説明されれば、その場は耐えられる」10.5が最も高く、次いで「181. 相手の動きを予測できるようになり、触られるとわかるようになったため、触られても驚かずに済む」6.7、「179. 動揺しているときに、手をつないで励ましてもらえると安心できる」6.0、「183. そっと抱いてもらうことが、どんな薬やセラピーより、何よりも役に立ってくれる」5.6と続いた。

オッズ比を用いて比較した結果が図19である。上から順に「180. お医者さんの診察では、診察のために触れる、と説明されれば、その場は耐えられる」13.9、「181. 相手の動きを予測できるようになり、触られるとわかるようになったため、触られても驚かずに済む」9.6、「183. そっと抱いてもらうことが、どんな薬やセラピーより、何よりも役に立ってくれる」3.7、「179. 動揺しているときに、手をつないで励ましてもらえると安心できる」2.7という結果となった。この4項目はすべて5%水準で有意差がみられた。

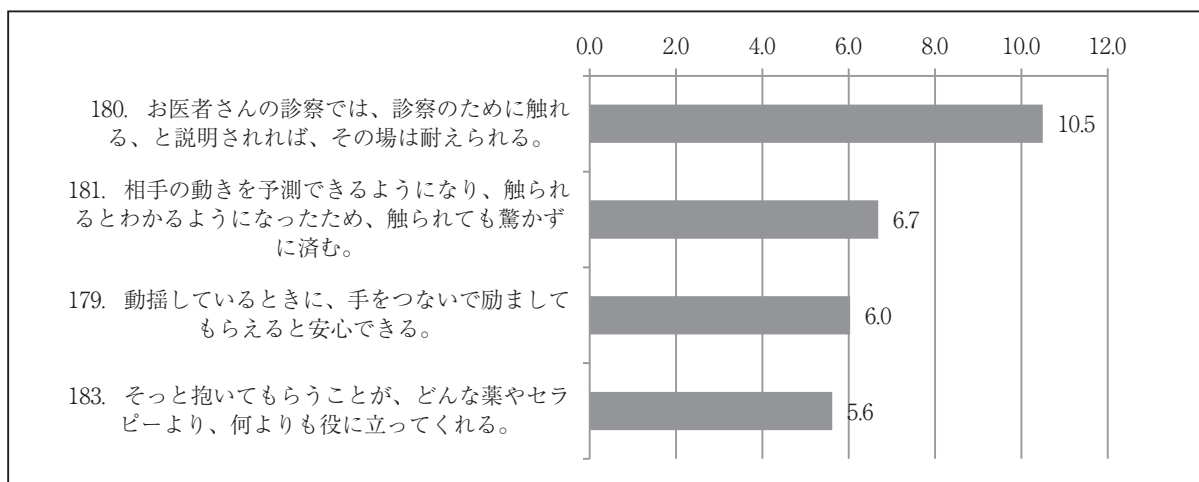


図18 受動触に関する理解・支援のχ²値比較

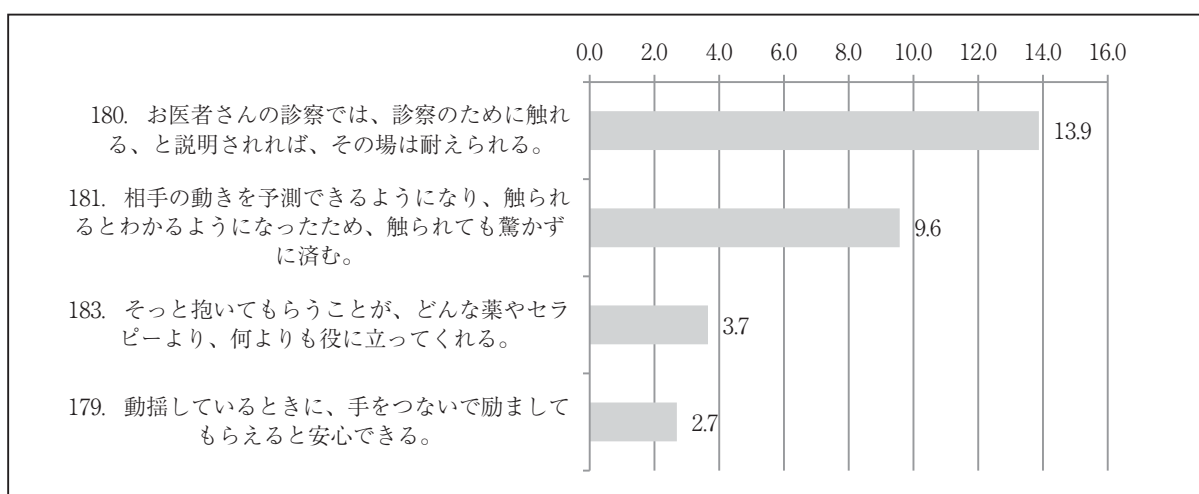


図19 受動触に関する理解・支援のオッズ比比較

4. 2 圧覚に関する理解・支援

圧覚に関する調査項目全7項目のうち、本人のチェック率が高かった項目は「203. マッサージは緊張がとけ、リラックスできる」24.2%, 次いで「191. 寝るときは、掛け布団にくるまって、すっかりうもれて寝ている」22.7%, 「189. 毛布にくるまったりマットレスの下にもぐったり、ソファのクッションの下にもぐりこんだときの圧迫が心地よい」15.6%となっている。その他、「190. シーツで身体を包むと、自分の身体を感じられて楽しく、落ち着ける」11.7%, 「188. 分厚いものにはさまれていると安心する」「187. 身体に均等の圧力を加えられると安心できる」がそれぞれ9.4%であった。また「193. 布団は重たいほうが好きである。羽毛布団のような軽い布団は嫌である」「198. カチツとした服を着ていると、自分の体がわかる」「201. 弾力のあるボールを握るとイライラが解消できる」がそれぞれ8.6%で並んでいる。

χ²検定の結果、有意差が見られた項目が図20である（上位3項目が1%水準，下位6項目は5%水準で有意差がみられた）。「198. カチツとした服を着ていると、自分の体がわかる」9.3が最も高く、次いで「195. タートルネックのシャツから受けるフィット感は心地良い」8.4, 「199. 手や足は感覚がないけれど、圧を受けると両手両足の存在を感じる」7.4であった。その他、「192. 夜はベッドのシーツと毛布を、かっちりマットレスの下にたくし込んで寝る」6.4, 「201. 弾力のあるボールを握るとイライラが解消できる」「200. 低ウレタンクッションを握っていると手のひらに返ってくる刺激のおかげで、ストレスが解消される」がともに5.5で続いている。

オッズ比を用いて比較した結果が図21である。χ²検定の結果と上位3位までは全く同様の項目が並びんでいる。なお、図21の項目はすべて5%水準で有意差がみられた。

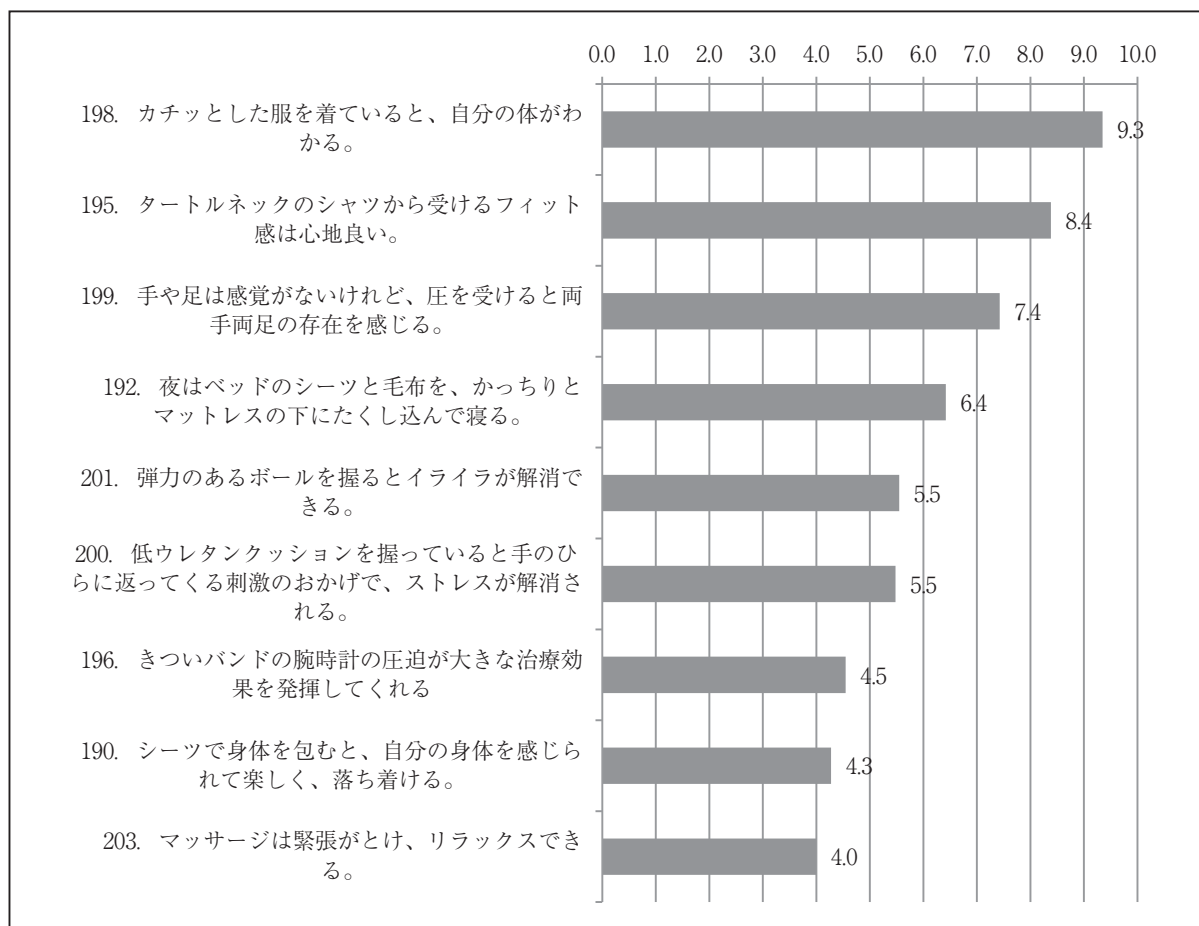


図20 圧覚に関する理解・支援の χ^2 値比較

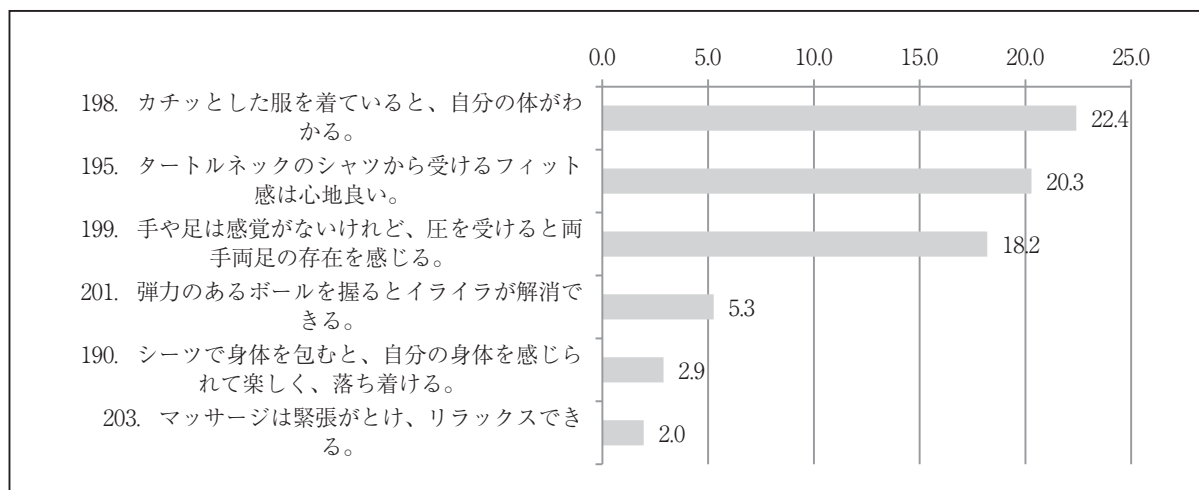


図21 圧覚に関する理解・支援のオッズ比比較

4. 3 温覚・冷覚に関する理解・支援

温覚・冷覚の調査項目は全4項目であり、チェック率の高い順に並べると「204. 体温調節が苦手なため、衣服で温度調節をしている」11.7%、「205. 外に出ただけで気温がほぼ正確に分かる」9.4%、「206. 熱いお湯は痛いけれど体に心地よい効果をもたらす」7.0%「207. 手や足は感覚がないけれど、熱を受けると両手両足の存在を感じる」6.3%となっている。

χ^2 検定の結果を示したものが図22である(3項目に1%水準で有意差がみられ, 残り1項目は5%水準で有意差がみられた)。最も χ^2 値が高かった項目は「204. 体温調節が苦手なため, 衣服で温度調節をしている」11.5であり, 次いで「205. 外に出ただけで気温がほぼ正確に分かる」10.3, 「207. 手や足は感覚がないけれど, 熱を受けると両手両足の存在を感じる」7.4, 「206. 熱いお湯は痛いけれど体に心地よい効果をもたらす」5.8の順となった。

オッズ比による検討結果を示したものが図23である。オッズ比が最も高い項目は「205. 外に出ただけで気温がほぼ正確に分かる」24.6, 次いで「204. 体温調節が苦手なため, 衣服で温度調節をしている」15.0, 「206. 熱いお湯は痛いけれど体に心地よい効果をもたらす」8.5の順となり, これらは5%水準で有意差がみられた。

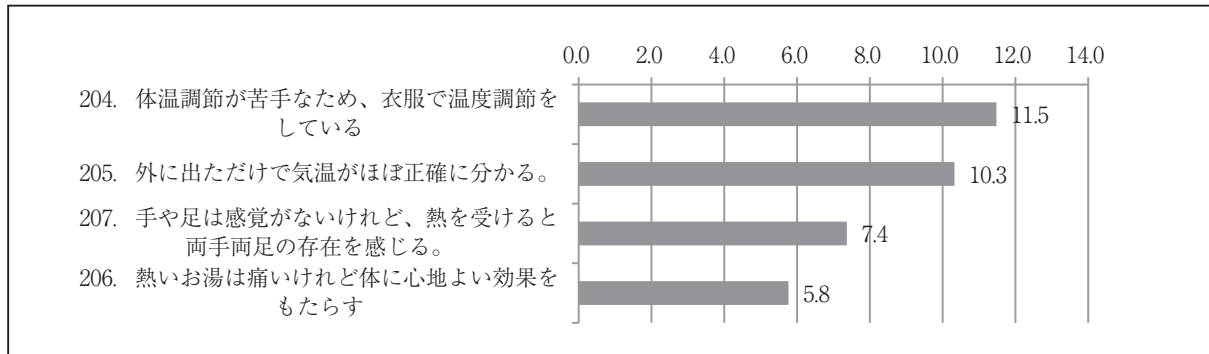


図22 温覚・冷覚に関する理解・支援の χ^2 値比較

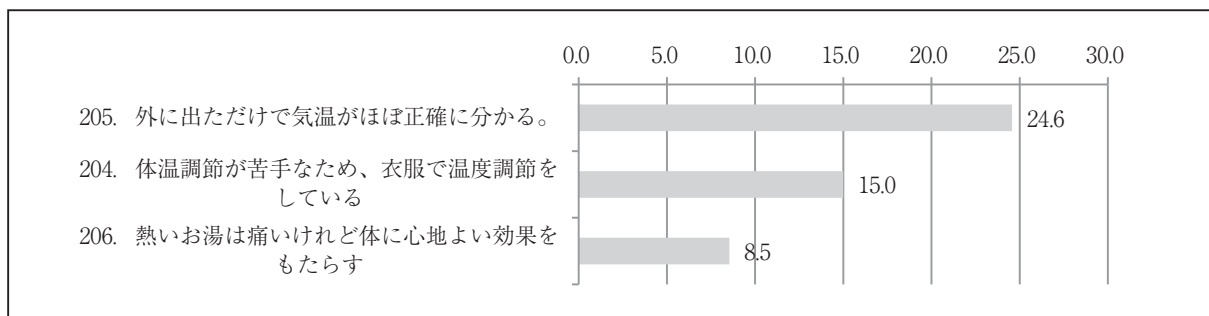


図23 温覚・冷覚に関する理解・支援のオッズ比比較

4. 4 物理的距離に関する理解・支援

物理的距離に関する理解・支援の調査項目は全3項目である。チェック率の高い順に並べると, 「209. 列に並ぶときには十分な間隔をとってほしい」27.3%, 「210. 体に触れる前にはあらかじめ声をかけてほしい」22.7%, 「211. 他の人とどのくらい距離をあければ失礼にあたらないか教えてほしい」18.8%とどの項目も高いチェック率となっている。

物理的距離に関する理解・支援の項目を χ^2 検定で分析した結果を示したものが図24である。図24に示したすべての項目において1%水準で有意差がみられ, χ^2 値の高い順に「211. 他の人とどのくらい距離をあければ失礼にあたらないか教えてほしい」18.2, 「209. 列に並ぶときには十分な間隔をとってほしい」17.0, 「210. 体に触れる前にはあらかじめ声をかけてほしい」16.7となった。

オッズ比を用いて検討した結果を示したものが図25である。オッズ比の高い順に「211. 他の人とどのくらい距離をあければ失礼にあたらないか教えてほしい」12.9, 「210. 体に触れる前にはあらかじめ声をかけてほしい」6.4, 「209. 列に並ぶときには十分な間隔をとってほしい」5.0である。なお, 図25のすべての項目において5%水準で有意差がみられた。

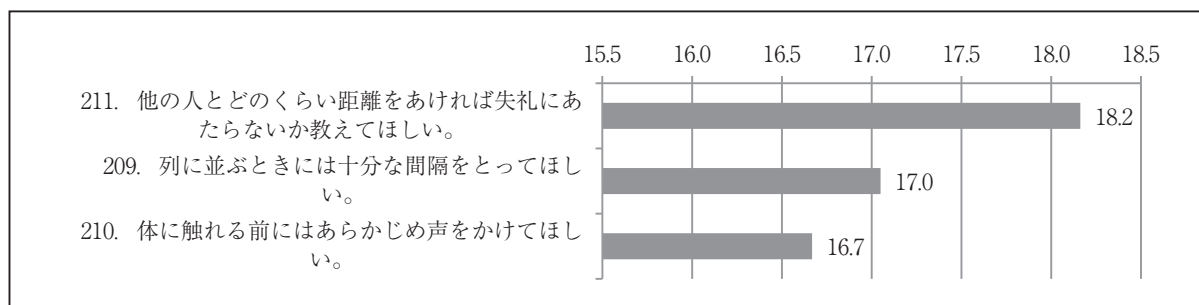
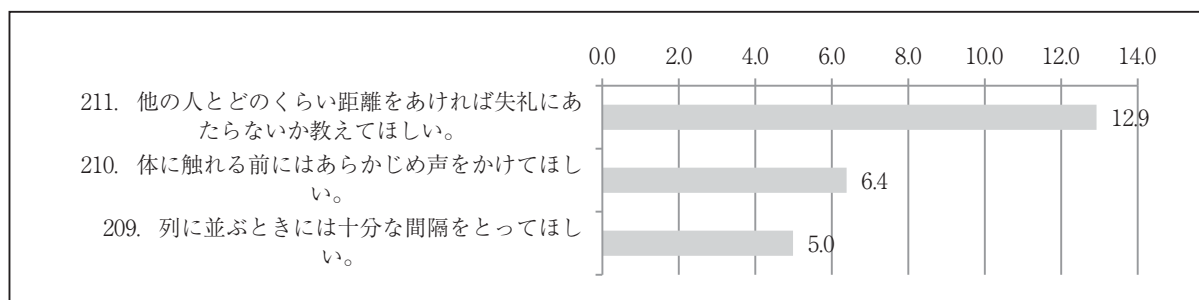
図24 物理的距離に関する理解・支援の χ^2 値比較

図25 物理的距離に関する理解・支援のオッズ比比較

5. おわりに

本稿では、発達障害を有する本人への調査を通して、発達障害の本人が有する皮膚感覚に関する多様な困難・ニーズの実態や発達障害の本人が求めている支援を明らかにしてきた。「濡れた服」「チクチクした服」など通常でも不快に感じる場合があるものはより顕著に敏感に不快を感じ、「髪の毛」など通常ならばあまり不快を感じないほどの刺激においても大きな不快を感じていることが明らかになった。実際、これらの困難を回避または緩和するために、肌触りでものを選ぶことや快適と感じる触刺激により安心感を得たり、圧刺激を得ることが身体の症状を落ち着かせる効果があることも明らかとなった。

今回の調査を通して、皮膚感覚では通常よりも刺激を敏感に感じとって困難を抱えている一方、触覚の低反応から生じる困難を抱えていることも浮かび上がってきた。触覚には外界から自分の身体を守る「防衛的な反応」と触った質感でこれは何かと分かる「識別的な反応」があるが、触覚において発達の困難がある場合には、触覚で識別することができないために防衛的な反応が強くなっていることが推察される。

例えば、友人がすれ違う際にちょっと触れただけで「何ぶつかってんだよ」と怒ってしまう子どものように、外界の触覚情報を識別・処理・統合する力に発達の困難を有していると強く防衛反応や警戒反応が出てしまう。皮膚感覚に発達の困難を有する子どもには、苦手な刺激を強要するのではなく、楽しく多様な触覚情報に触れることのできる環境設定を行うことが必要である。

さて今後の研究の課題であるが、調査対象数を増やし、障害種別、年齢、性別、所属（就労の有無）の比較などを実施して、求める支援の違い等を検討していくことや、困難・ニーズの背景・要因を明らかにするための質的研究が必要である。

【附記】 本研究に協力いただいた発達障害の本人・当事者124名、東京学芸大学の学生113名の方々に記して深くお礼を申し上げます。また本研究は、「東京学芸大学平成24年度重点研究費」（研究代表：高橋智）による研究成果の一部である。

文 献

- A. Jean Ayres (佐藤剛監訳, 1983) 『子どもの発達と感覚統合』協同医書出版社。
- アクセル・ブラウンズ (浅井晶子訳, 2005) 『鮮やかな影とコウモリーある自閉症青年の世界』インデックス出版。
- 荒木龍三／豊中市社会福祉協議会 (2011) 『発達障害の僕がホームレスになった理由—訓練, 就労, そして再出発』ブリコラー
ジュ／筒井書房。
- 綾屋紗月・熊谷晋一郎 (2008) 『発達障害当事者研究—ゆっくりしていねいにつながりたい—』医学書院。
- アズ直子 (2011) 『アスペルガーですが, 妻で母で社長です。』大和出版。
- アズ直子 (2012) 『アスペルガーですが, ご理解とご協力をお願いいたします。』大和出版。
- ビリガー・ゼリーン (平野卿子訳, 1999) 『もう闇のなかにはいたくない—自閉症と闘う少年の日記』草思社。
- ベン・ボリス (山本俊至訳, 2003) 『ぼくは, ADHD!—自分を操縦する方法—』三輪書店。
- キャロル・ストック・クラノウイツ (土田玲子監訳, 2011) 『でこぼこした発達の子どもたち—発達障害・感覚統合障害を理解し, 長所を伸ばすサポートの方法—』すばる社。
- ダグラス・ビクレン編著, リチャード・アトフィールド, ラリー・ビショネットほか著 (鈴木真帆監訳, 2009) 『「自」らに
「閉」じこもらない自閉症者たち—「話せない」7人の自閉症者が指で綴った物語—』エスコアール出版部。
- ダニエル・ステファンスキー, 石井哲夫監修 (上田勢子訳, 2011) 『自閉症のある子と友だちになるには—当事者だからわかる
つきあい方イラストブッカー—』晶文社。
- ダニエル・タメット (古屋美登里訳, 2007) 『ぼくには数字が風景に見える』講談社。
- 傳田光洋 (2005) 『皮膚は考える (岩波科学ライブラリー 112)』岩波書店。
- 傳田光洋 (2007) 『第三の脳—皮膚から考える命, ところ, 世界—』朝日出版社。
- 傳田光洋 (2013) 『皮膚感覚と人間のこころ (新潮選書)』新潮社。
- ドナ・ウィリアムズ (河野万里子訳, 2000) 『自閉症だったわたしへ』新潮社 (新潮文庫)。
- ドナ・ウィリアムズ (河野万里子訳, 2001) 『自閉症だったわたしへ (2)』新潮社 (新潮文庫)。
- ドナ・ウィリアムズ (河野万里子訳, 2002) 『ドナの結婚—自閉症だったわたしへ—』新潮社。
- ドナ・ウィリアムズ (河野万里子訳, 2004) 『自閉症だったわたしへ (3)』新潮社 (新潮文庫)。
- ドナ・ウィリアムズ (2008) 『ドナ・ウィリアムズの自閉症の豊かな世界』明石書店。
- ドナ・ウィリアムズ (川手鷹彦訳, 2009) 『自閉症という体験—失われた感覚を持つ人びと—』誠信書房。
- Field, T. (2010) Touch for socioemotional and physical well-being: A review, *Developmental Review*, 30 (4).
- Field, T., Quintino, O., Hernandez-Reif, M., Koslovsky, G. (1998) Adolescents with attention deficit hyperactivity disorder benefit from
massage therapy. *Adolescence*, 33 (129).
- 藤家寛子 (2004) 『他の誰かになりたかった—多重人格から目覚めた自閉の少女の手記—』花風社。
- 藤家寛子 (2005) 『あの扉の向こうへ—自閉の少女と家族, 成長の物語—』花風社。
- 藤家寛子 (2007) 『自閉っ子は, 早期診断がお好き』花風社。
- 藤家寛子・浅見淳子 (2009) 『自閉っ子的心身安定生活!』花風社。
- フワリ (2012) 『パニックダイジテン (アスペルガーの心)』偕成社。
- フワリ (2012) 『わたしもパズルのひとかけら (アスペルガーの心)』偕成社。
- 権田真吾 (2011) 『ぼくはアスペルガー症候群』彩図社。
- ゴトウサンパチ (2011) 『先生がアスペルガーって本当ですか?—現役教師の僕が見つけた幸せの法則—』明石書店。
- グニラ・ガーランド (熊谷高幸監訳, 石井バークマン麻子訳, 2007) 『自閉症者が語る人間関係と性』東京書籍。
- グニラ・ガーランド (中川弥生訳, 2003) 『あなた自身のいのちを生きて—アスペルガー症候群, 高機能自閉症, 広汎性発達障
害への理解』クリエイツかもがわ。
- グニラ・ガーランド (ニキ・リンコ訳, 2000) 『ずっと「普通」になりたかった。』花風社。
- 服巻智子編・ニキ・リンコほか (2006) 『自閉症スペクトラム青年期・成人期のサクセスガイド—Autism Retreat Japan 1—』ク
リエイツかもがわ。
- 服巻智子編, リアン・ホリデー・ウィリーほか (2008) 『当事者が語る異文化としてのアスペルガー—Autism Retreat Japan 自閉
症スペクトラム青年期・成人期のサクセスガイド2—』クリエイツかもがわ。

- 服巻智子編・満石理恵ほか (2009) 『当事者が語る結婚・子育て・家庭生活—Autism Retreat Japan 自閉症スペクトラム青年期・成人期のサクセスガイド3—』 クリエイツかもがわ。
- 東田直樹 (2007) 『自閉症の僕が跳びはねる理由—会話の出来ない中学生がつづる内なる心—』 エスコアール。
- 東田直樹 (2010) 『続・自閉症の僕が跳びはねる理由—会話のできない高校生がたどる心の軌跡—』 エスコアール。
- 東田直樹 (2013) 『あるがままに自閉症です—東田直樹の見つめる世界—』 エスコアール。
- 東田直樹 (2014) 『跳びはねる思考—会話のできない自閉症の僕が考えていること—』 イースト・プレス。
- 東田直樹・東田美紀 (2005) 『この地球にすんでいる僕の仲間たちへ—12歳の僕が知っている自閉の世界—』 エスコアール。
- 筆談補助の会編 (2008) 『言えない気持ちを伝えたい—発達障害のある人へのコミュニケーションを支援する筆談補助—』 エスコアール。
- 保科ハルカ (2010) 『PLASTIC DOLL—アスペルガー的半生—』 東京図書出版社。
- 星野仁彦・小松文子・熊代永 (1992) 幼児自閉症における偏食と食行動異常に関する調査, 『小児の精神と神経』 第32巻1号。
- 星空千手 (2007) 『わが家は自閉率40%—あっスペルが—症候群親子は転んでもただでは起きぬ—』 中央法規。
- 池宮一朗 (2008) 『アスペルガー症候群と共に生きる僕の勇気—歪んだ社会を変えるために—』 文芸社。
- 今田純雄 (2005) 『食べることの心理学—食べる, 食べない, 好き, 嫌い—』 有斐閣選書。
- 石原孝二編 (2013) 『当事者研究の研究』 医学書院。
- 岩永竜一郎 (2010) 『自閉症スペクトラムの子どもへの感覚・運動アプローチ入門』 東京書籍。
- 岩永竜一郎 (2014) 『自閉症スペクトラムの子どもへの感覚・運動の問題への対処法』 東京書籍。
- 岩永竜一郎, 藤家寛子, ニキ・リンコ (2008) 『続自閉っ子, こういう風にできてます! 自立のための身体づくり』 花風社。
- 岩永竜一郎, ニキ・リンコ, 藤家寛子 (2009) 『続々自閉っ子, こういう風にできてます! 自立のための環境づくり』 花風社。
- 泉流星 (2003) 『地球生まれの異星人—自閉者として, 日本に生きる—』 花風社。
- 泉流星 (2008) 『エイリアンの地球ライフ—おとなの高機能自閉症/アスペルガー症候群』 新潮社。
- 泉流星 (2008) 『僕の妻はエイリアン—「高機能自閉症」との不思議な結婚生活—』 新潮社文庫。
- ジェリー・ニューポート, ジョニー・ドッド, メアリー・ニューポート (八坂ありさ訳, 2007) 『モーツァルトとクジラ』 日本放送出版協会。
- ジェリー・ニューポート, メアリー・ニューポート (ニキ・リンコ訳, 2010) 『アスペルガー症候群—思春期からの性と恋愛—』 クリエイツかもがわ。
- ジュネヴィエーヴ, エドモンズ, ルーク, ベアドン (2011) 『アスペルガー流人間関係—14人それぞれの経験と工夫—』 東京書籍。
- ジュリー・マシューズ (大森隆史監修・小澤理絵訳, 2012) 『発達障害の子どもが変わる食事』 青春出版社。
- ジョン・エルダー・ロビンソン (テラー幸恵訳, 2009) 『眼を見なさい!—アスペルガーとともに生きる—』 東京書籍。
- ジョン・エルダー・ロビンソン (藤井良江訳, 2012) 『変わり者でいこう—あるアスペルガー者の冒険—』 東京書籍。
- 兼田絢未 (2011) 『親子アスペルガー—ちょっと脳のタイプが違います—』 合同出版。
- カムラン・ナジュール (神崎朗子訳, 2011) 『ぼくたちが見た世界—自閉症児者によって綴られた物語—』 柏書房。
- カトリン・ベントリー (室崎育美訳, 2008) 『一緒にいてもひとり—アスペルガーの結婚がうまくいくために—』 東京書籍。
- ケネス・ホール (野坂悦子訳, 2001) 『もっと知ってよ ぼくらのことを』 東京書籍。
- キャスリーン・ナデュー, バトリシア・クイン (ニキ・リンコ/沢木あさみ訳, 2003) 『AD/HD & BODY—女性のAD/HDのすべて—』 花風社。
- キャスリーン・ナデュー, バトリシア・クイン (沢木あさみ訳, 2003) 『AD/HD & セラピー—女性のAD/HDと生活術—』 花風社。
- 小道モコ (2009) 『あたし研究—自閉症スペクトラム~小道モコの場合—』 クリエイツかもがわ。
- 越野由香 (2010) 発達障がいをもつ子どもとマッサージの効用—自律神経系の調整に注目して—, 『実践女子短期大学紀要』 31。
- 高森明 (2007) 『アスペルガー当事者が語る特別支援教育—スロー・ランナーのすすめ—』 金子書房。
- 高森明 (2010) 『漂流する発達障害の若者たち—開かれたセーフティーネット社会を—』 ぶどう社。
- 高森明・木下千紗子・南雲明彦・高橋今日子・片岡麻美・橙山緑・鈴木大知・アハメッド敦子 (2008) 『私たち, 発達障害と生きてます—出会い, そして再生へ—』 ぶどう社。
- リアン・ホリデー・ウィリー (ニキ・リンコ訳, 2002) 『アスペルガー的人生』 東京書籍。

- リアン・ホリデー・ウィリー (ニキ・リンコ訳, 2007) 『私と娘, 家族の中のアスペルガー—ほがらかにくらすための私たちのやりかた—』 明石書店。
- Robin H. (2011) 『無限振り—精神科医となった自閉症者の声無き叫び—』 共同医書出版社。
- 森口奈緒美 (2002) 『平行線—ある自閉症者の青年期の回想—』 プレーン出版。
- 森口奈緒美 (2004) 『変光星—自閉の少女に見えていた世界—』 花風社。
- 村上由美 (2012) 『アスペルガーの館』 講談社。
- 中田大地 (2010) 『ぼく, アスペルガーかもしれない。』 花風社。
- 中田大地 (2010) 『僕たちは発達しているよ』 花風社。
- 中田大地 (2011) 『僕は, 社会(みんな)の中で生きる。お家で, 学校で, アスペルガーの僕が毎日お勉強していること』 花風社。
- 中山玲 (2003) 『わかっているのにできない, やめられない—それでもADHDと共存する方法—』 花風社。
- 成澤達哉 (2004) 『Myフェアリー・ハート わたし, アスペルガー症候群。』 文芸社。
- ニキ・リンコ (2005) 『俺ルール!—自閉は急に止まれない—』 花風社。
- ニキ・リンコ (2007) 『自閉っ子, えっちらおっちら世を渡る』 花風社。
- ニキ・リンコ (2007) 『自閉っ子におけるモンダイな想像力』 花風社。
- ニキ・リンコ (2008) 『スルーできない脳 自閉は脳の便秘です』 生活書院。
- ニキ・リンコ, 藤家寛子 (2004) 『自閉っ子, こういう風にできてます!』 花風社。
- ニキ・リンコ, 仲本博子 (2006) 『自閉っ子, 深読みしなけりゃうまくいく』 花風社。
- 岡野高明, ニキ・リンコ (2002) 『教えて私の「脳みそ」のかたち—大人になって自分のADHD, アスペルガー障害に気づく—』 花風社。
- 沖田×華 (2010) 『ニトロちゃん—みんなと違う, 発達障害の私—』 光文社。
- 沖田×華 (2012) 『毎日やらかしてます。アスペルガーで, 漫画家で』 ぶんか社。
- ルディ・シモン (牧野恵訳, 2011) 『アスペルガー—アスペルガーの女性に力を—』 スペクトラム出版社。
- ルーク・ジャクソン (ニキ・リンコ訳, 2005) 『青年期のアスペルガー症候群—仲間たちへ, まわりの人へ—』 スペクトラム出版社。
- 笹森理恵 (2009) 『ADHD・アスペ系ママ—へんちゃんのポジティブライフ—発達障害を個性に変えて』 明石書店。
- サリソルデン (ニキ・リンコ訳, 2000) 『片づけられない女たち』 WAVE出版。
- サリソルデン (ニキ・リンコ訳, 2005) 『片づけられない人』の人生ガイド』 WAVE出版。
- 白井由佳 (2002) 『オロオロしなくていいんだね!—ADHDサバイバル・ダイアリー—』 花風社。
- 白井由佳 (2003) 『ビクビクするのはやめようよ!—ADHDの人のための人間関係ガイド—』 花風社。
- ステイーブン・ショア (森由美子訳, 2004) 『壁のむこうへ—自閉症の私の人生—』 学習研究社。
- しーた (2010) 『アスペルガー症候群だっていいじゃない—私の凸凹生活研究レポート—』 学習研究社。
- しーた (2011) 『発達障害工夫したい支援したい—私の凸凹生活研究レポート2—』 学研教育出版。
- 高橋紗都・高橋尚美 (2008) 『うわわ手帳と私のアスペルガー症候群—10歳の少女が綴る感性豊かな世界—』 クリエイツかもがわ。
- 高橋智・増渕美穂 (2008) アスペルガー症候群・高機能自閉症における「感覚過敏・鈍麻」の実態と支援に関する研究—本人へのニーズ調査から—, 『東京学芸大学紀要(総合教育科学系)』59。
- 高橋智・石川衣紀・田部絢子 (2011) 本人調査からみた発達障害者の「身体症状(身体の不調・不具合)」の検討, 『東京学芸大学紀要総合教育科学系Ⅱ』62。
- 高橋智・田部絢子・石川衣紀 (2012) 発達障害の身体問題(感覚情報調整処理・身体症状・身体運動)の諸相—発達障害の当事者調査から—, 『障害者問題研究』40(1)。
- 高橋智・井戸綾香・田部絢子・内藤千尋・小野川文子・竹本弥生・石川衣紀 (2013) 本人・当事者調査から探るアスペルガー症候群等の発達障害の子ども・青少年のスポーツ振興の課題, 『SSFスポーツ政策研究』第2巻1号, 公益財団法人笹川スポーツ財団。
- 高橋智・井戸綾香・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋 (2014) 発達障害と「身体の動きにくさ」の困難・ニーズ—発達障害の本人調査から—, 『東京学芸大学紀要総合教育科学系Ⅱ』65。
- テンブル・グランディン, マーガレット・M・スカリアーノ (カニングハム久子訳, 1994) 『我, 自閉症に生まれて』 学習研究社。
- テンブル・グランディン (カニングハム久子訳, 1997) 『自閉症の才能開発—自閉症と天才をつなぐ環—』 学習研究社。

- テンブル・グランディン, ショーン・バロン (門脇陽子訳, 2009) 『自閉症スペクトラム障害のある人が才能をいかすための人間関係10のルール』明石書店。
- テンブル・グランディン (中尾ゆかり訳, 2010) 『自閉症感覚—かくれた能力を引きだす方法—』日本放送出版協会。
- トーマス・A・マッキー (ニキ・リンコ訳, 2003) 『ぼくとクマと自閉症の仲間たち』花風社。
- 利田潤 (2011) 『僕はアスペルガー—ある広汎性発達障害者の手記—』創風社出版。
- 上野康一・上野景子・上野健一 (2011) 『発達障害なんのその, それが僕の生きる道』東京シュエール出版。
- 梅永雄二編 (2004) 『こんなサポートがあれば! LD, ADHD, アスペルガー症候群, 高機能自閉症の人たちの自身の声』エンパワメント研究所。
- 梅永雄二編 (2007) 『こんなサポートがあれば! LD, ADHD, アスペルガー症候群, 高機能自閉症の人たちの自身の声2』エンパワメント研究所。
- ウェンディ・ローソン (ニキ・リンコ訳, 2001) 『私の障害, 私の個性』花風社。
- 山口創 (2006) 『皮膚感覚の不思議「皮膚」と「心」の身体心理学』講談社。
- 山口創 (2007) 『子供の「脳」は肌にある』光文社新書。
- 山口創 (2008) <特集触れる皮膚感覚とケア>いたい, かゆい, きもちいい—皮膚感覚のしくみと意味—, 『看護学雑誌』72 (11)。
- 山口創 (2012) 『手の治癒力』草思社。
- 山下揺介・田部絢子・石川衣紀・上好功・至田精一・高橋智 (2010) 発達障害の本人調査からみた発達障害者が有するスポーツの困難・ニーズ, 『東京学芸大学紀要総合教育科学系Ⅰ』第61集。
- Von Knorring, A. L., Soderberg, A., Austin, L., Uvnas-Moberg, K. (2008) Massage decreases aggression in preschool children: a long time study, *Acta Paediatrica*, 97.

発達障害者の皮膚感覚の困難・ニーズに関する実態調査

I. 皮膚感覚の困難に関するチェックリスト

1. あてはまる項目の□の部分にチェックを入れてください。(例: , →など)

2. チェックのついた項目の中で、その詳細がある場合には(具体的に:)に可能な範囲でお書き下さい。(例: 現在はそうではないが過去はそうであったことや、あてはまる項目について自分で工夫していることなど)

☆項目が大変多くなっていますので、ぜひ休憩をとりながらご自分のペースに合わせてお進めください。

1. 触覚

【能動触: 触れること、自分から行う行為】

001.	<input type="checkbox"/> 髪の毛が肌にわずかに触れても苦痛である。(具体的に:)
002.	<input type="checkbox"/> 頭皮は洗髪するとき本当に痛い。(具体的に:)
003.	<input type="checkbox"/> 散髪するのはひどく痛くてもものすごくつらい。(具体的に:)
004.	<input type="checkbox"/> 櫛を使うことは最悪で、ブラシもトゲトゲが嫌で使えるものがなかなかない。(具体的に:)
005.	<input type="checkbox"/> かみそりを使うのはとてもつらい。(具体的に:)
006.	<input type="checkbox"/> 爪切りは痛いので使うのはとてもつらい。(具体的に:)

1) 化粧品、石けん等

007.	<input type="checkbox"/> 顔に何かを塗ることに抵抗があり、気持ちが悪くて化粧は全くできない。(具体的に:)
008.	<input type="checkbox"/> 化学物質が入っている石けんやローション、シャンプー、毛染め剤、香水は使うと湿疹や頭痛を起こす。(具体的に:)
009.	<input type="checkbox"/> 固形石けんは痛い。(具体的に:)
010.	<input type="checkbox"/> 石けんを使うと皮脂を取りすぎてしまって肌がちくちくする。(具体的に:)
011.	<input type="checkbox"/> シャンプーは使えないものが多い。(具体的に:)
012.	<input type="checkbox"/> 石油系合成洗剤は、触るとすぐに赤くなり、かゆみが出てくるので触ることができない。(具体的に:)

2) 衣服、装身具

013.	<input type="checkbox"/> 服は綿100%でないと耐えられない。(具体的に:)
014.	<input type="checkbox"/> 動物の毛が入った素材が苦手である。(具体的に:)
015.	<input type="checkbox"/> 純毛の衣服は我慢できない。(具体的に:)

016.	<input type="checkbox"/>	ウールの服のざらっとした生地は、ちくちくと痛みを感じるからまったく着られない。 (具体的に：))
017.	<input type="checkbox"/>	ナイロンの服のガサガサした肌触りが苦手である。(具体的に：)
018.	<input type="checkbox"/>	サテンの服が苦手である。(具体的に：)
019.	<input type="checkbox"/>	ポリエステル服が苦手である。(具体的に：)
020.	<input type="checkbox"/>	シルクは柔らかくて好きではない。(具体的に：)
021.	<input type="checkbox"/>	ジーンズの肌触りが嫌いである。(具体的に：)
022.	<input type="checkbox"/>	トレーナー地のジャージの服の裏の感触が嫌いである。(具体的に：)
023.	<input type="checkbox"/>	服の生地が肌に触れることがとても不快である。(具体的に：)
024.	<input type="checkbox"/>	服の裏側に針みたいなのがあり、ちくちくと肌に刺さるような痛い感覚なため、着られない服が多数あった。 (具体的に：)
025.	<input type="checkbox"/>	体調の悪い時は「これは着られない」ということや肌がひりひりすることがある。 (具体的に：)
026.	<input type="checkbox"/>	肌ざわりがよくゆったりした服しか着られないため、それ以外の衣服の不快感を我慢することはひどくエネルギーを消費してしまう。(具体的に：)
027.	<input type="checkbox"/>	服の感触が一日中気になり、座っていてもそれに気を取られてそわそわしている。 (具体的に：)
028.	<input type="checkbox"/>	大きなサイズでゆったりした服でないと接触面積が大きいため、それに気をとられて集中力が落ちる。 (具体的に：)
029.	<input type="checkbox"/>	すすぎが足りず、洗剤がきちんと落ちていない服は、触れると痛い。(具体的に：)
030.	<input type="checkbox"/>	服がちょっとでもぬれたり汚れたりしたら我慢できない。(具体的に：)
031.	<input type="checkbox"/>	服が濡れたときに肌に張り付くのはどうしても我慢できない。(具体的に：)
032.	<input type="checkbox"/>	首にタグが触れるのはちくちくして耐えられない。(具体的に：)
033.	<input type="checkbox"/>	服の裏の縫い目のでこぼこが痛い。(具体的に：)
034.	<input type="checkbox"/>	コートの境目や区切りの部分がつらい。(具体的に：)
035.	<input type="checkbox"/>	ひだ飾り、紐、レース、ポリエステル、ワイヤー、ホック、フリルが嫌い。(具体的に：)
036.	<input type="checkbox"/>	わずかに触れる肌着も毛虫が這っているように苦痛である。(具体的に：)
037.	<input type="checkbox"/>	新品の下着は10回以上洗濯したものでなければ、着心地がよくない。(具体的に：)
038.	<input type="checkbox"/>	ちくちくした服が苦手だから、セーターというものは所持していない。(具体的に：)
039.	<input type="checkbox"/>	学校の制服を着るのはいやだった。気になって、勉強どころではない日もあった。(具体的に：)
040.	<input type="checkbox"/>	タイトなジーンズは履けない。(具体的に：)
041.	<input type="checkbox"/>	スカートを履くのはとてつもない苦痛である。ひらひらした服を避け、できるだけ皮膚を包んじたい。 (具体的に：)
042.	<input type="checkbox"/>	靴下の、縫い目や毛糸など目の粗い素材の肌触りが焼けつくように感じる。(具体的に：)

043.	<input type="checkbox"/>	みみせん いやほん かんしよく にがて つか ぐたいてき 耳栓やイヤホンの感触が苦手でほとんど使えない。(具体的に:)
044.	<input type="checkbox"/>	へあびん きんぞく ぼたん あくせさりー たぐい ふ ぐたいてき ヘアピンも金属のボタンもアクセサリーの類は触れるとひどく怖い気持ちがある。(具体的に:)
045.	<input type="checkbox"/>	あくせさりー たぐい はだ う つ ぐたいてき アクセサリーの類は肌が受け付けない。(具体的に:)
046.	<input type="checkbox"/>	ふあーがくびもと つくこと はくすぐったくて、とてもたえられない。(具体的に:)

3) 文具

047.	<input type="checkbox"/>	じょうしつ かみ やわ ひよかん すべ かん き ぐたいてき 上質な紙の柔らかくて表面を滑るような感じが気に入らない。(具体的に:)
048.	<input type="checkbox"/>	ほん かばー はだざわ いや かなら ぐたいてき 本のカバーは肌触りが嫌で必ずとる。(具体的に:)
049.	<input type="checkbox"/>	すていっく のり なん だいじょうぶ ぼうき はい ぐたいてき スティックのりは何とか大丈夫だが、容器に入っているでんぷんのりは少しでも指につくと耐えられない。(具体的に:)
050.	<input type="checkbox"/>	ねんど かんしよく きら ぐたいてき 粘土の感触が嫌いである。(具体的に:)
051.	<input type="checkbox"/>	え ぐ て つ あら なが ぐたいてき 絵の具が手に付いたらすぐに洗い流さずにはいられない。(具体的に:)
052.	<input type="checkbox"/>	くれよん やわ ぐたいてき クレヨンが柔らかくてべたつくので嫌いである。(具体的に:)
053.	<input type="checkbox"/>	ちーく こな にがて ぐたいてき チョークの粉が苦手である。(具体的に:)

4) その他

054.	<input type="checkbox"/>	かんしよく にがて ぐたいてき ねとねとした感触のものは苦手である。(具体的に:)
055.	<input type="checkbox"/>	かんしよく にがて ぐたいてき ぬるぬるした感触のものは苦手である。(具体的に:)
056.	<input type="checkbox"/>	さわ にがて ぐたいてき やわらかいものに触るのは苦手である。(具体的に:)
057.	<input type="checkbox"/>	でんしゃ て かわ か もの かーと ぬるぬる かんしよく にがて ぐたいてき 電車の手すり、つり革、買い物のカートをつかむところのヌルヌルする感触は苦手である。(具体的に:)
058.	<input type="checkbox"/>	あし すな ふ にがて かいすいよく ぐたいてき 足が砂に触れるのが苦手なため海水浴に行けない。(具体的に:)
059.	<input type="checkbox"/>	はたけ つち ふわふわした やわ ふあてい こわ ぐたいてき 畑の土のふわふわした柔らかさは、不安定で怖い。(具体的に:)
060.	<input type="checkbox"/>	もくざい ふ にがて わり ぼし にがて ぐたいてき 木材に触れるのが苦手であり、割り箸も苦手である。(具体的に:)
061.	<input type="checkbox"/>	ぬ き ふ つら ぐたいてき つやつやに塗られた木に触れるのは辛い。(具体的に:)
062.	<input type="checkbox"/>	きんぞく つめ かんしよく にがて ぐたいてき 金属の冷たい感触はとても苦手である。(具体的に:)
063.	<input type="checkbox"/>	こうない きんぞく はい は け ぐたいてき 口内に金属が入ると吐き気をもよおす。(具体的に:)
064.	<input type="checkbox"/>	きんぞく かとらりー きんぞく す ぽーん ふおーく ない ふ つか ぐたいてき 金属カトラリー(金属のスプーンやフォーク、ナイフなど)は使うことができない。(具体的に:)
065.	<input type="checkbox"/>	しかい きんぞくせい いりようき き ぐち はい たいへん くつう ぐたいてき 歯科医で金属製の医療機器が口に入ることは大変な苦痛である。(具体的に:)
066.	<input type="checkbox"/>	こうか かんしよく にがて ぐたいてき 硬貨の感触はとても苦手である。(具体的に:)
067.	<input type="checkbox"/>	ひ ふ ほ こり なに ぐたいてき 皮膚にホコリでも何かがちょっとでもついてることが嫌である。(具体的に:)
068.	<input type="checkbox"/>	た もの しる ぐち まわ てきき お つ かず いちいち ふ かんしよく ぐたいてき 食べ物の汁がちょっとでも口の周りや手先につくと、落ち着かず、いちいち拭かないと気がすまない。(具体的に:)

069.	<input type="checkbox"/>	料理は好きだが、肉をさわったりすると、すぐに洗剤をつけて手を洗わないと気がすまない。 (具体的に：))
070.	<input type="checkbox"/>	濡れるのがとても苦手である。(具体的に：))
071.	<input type="checkbox"/>	顔が濡れるのがとても苦手である。(具体的に：))
072.	<input type="checkbox"/>	濡れている物に触るのがとても苦手である。(具体的に：))
073.	<input type="checkbox"/>	濡れた砂の感触はとても苦手である。(具体的に：))
074.	<input type="checkbox"/>	裸足で濡れたところを歩けない。(具体的に：))
075.	<input type="checkbox"/>	入浴のさいに自分で濡らしたところも歩けない。(具体的に：))
076.	<input type="checkbox"/>	水泳のスノコ、コンクリートのプールサイドは痛くて歩けない。(具体的に：))
077.	<input type="checkbox"/>	水滴は痛い。(具体的に：))
078.	<input type="checkbox"/>	皮膚に水が伝う感触に耐えられないためシャワーを浴びることができない。 (具体的に：))
079.	<input type="checkbox"/>	背中がびしょびしょであることが感覚でわからない。(具体的に：))
080.	<input type="checkbox"/>	雨に当たると体に無数の針がささるのと同じような痛みを感じる。(具体的に：))
081.	<input type="checkbox"/>	汗をかくとちくちく痛い。(具体的に：))
082.	<input type="checkbox"/>	風が痛い。(具体的に：))

【受動触：触れられること、他者からされる行為】

083.	<input type="checkbox"/>	どんな触れられ方であれ痛いと感じ、とてつもなく怖い。(具体的に：))
084.	<input type="checkbox"/>	一瞬触れられるだけでも電気が走ったようにビリッとなる。(具体的に：))
085.	<input type="checkbox"/>	軽くふんわり触れると、肌の下を虫が這うような感じがする。(具体的に：))
086.	<input type="checkbox"/>	軽く触れると過剰にくすぐたくて辛い。(具体的に：))
087.	<input type="checkbox"/>	顔に触れるとパニックになる。(具体的に：))
088.	<input type="checkbox"/>	肩を触られるのが異様に嫌いである。(具体的に：))
089.	<input type="checkbox"/>	後ろから突然肩を触れられたら背筋が凍りつくほど驚く。(具体的に：))
090.	<input type="checkbox"/>	好きな人でも、肩を抱かれるのも、手を繋かれるのも嫌である。体に触れると思うと相手が誰であれ緊張する。 (具体的に：))
091.	<input type="checkbox"/>	初めての人と握手することができない。(具体的に：))
092.	<input type="checkbox"/>	手をつなぐと、握りこぶしの中に丸太がめり込んでくるように感じられる。(具体的に：))
093.	<input type="checkbox"/>	病院での聴診器や触診は、注射よりも嫌である。(具体的に：))
094.	<input type="checkbox"/>	人に触れるのが嫌いなためマッサージにも行けない。(具体的に：))
095.	<input type="checkbox"/>	くすぐられるとかなり痛い。(具体的に：))
096.	<input type="checkbox"/>	人に触れると、自分の中でいろいろな感覚がたくさん起こりすぎて手に負えなくなるから、触れるのが こわい。(具体的に：))

097.	<input type="checkbox"/>	人から触れられるのは覚悟があるため、触れられるとわかると、何も感じないでしようと自分の体から意識や感情をきり離してしまう。(具体的に:)
098.	<input type="checkbox"/>	抱きしめられることは目が回り、気絶しそうなほど気持ちが悪くなるので、こわくて嫌いである。(具体的に:)

2. 圧覚

099.	<input type="checkbox"/>	家では締め付けるものは一切身につけず、下着も着ない。(具体的に:)
100.	<input type="checkbox"/>	パンツのゴムでさえ、全身の血がとめられるような感じがして苦しくなる。(具体的に:)
101.	<input type="checkbox"/>	袖口にゴムが入っている服、ゴムの入っているズボンやスカートは拷問のようである。(具体的に:)
102.	<input type="checkbox"/>	帽子は痛い。(具体的に:)
103.	<input type="checkbox"/>	水泳帽は締めつけが強すぎてかぶれない。(具体的に:)
104.	<input type="checkbox"/>	ベルトはとても嫌いである。(具体的に:)
105.	<input type="checkbox"/>	毛糸のピッタリとした手袋はムズムズして気持ち悪くなり苦手である。(具体的に:)
106.	<input type="checkbox"/>	ゴム手袋や指サックは嫌いである。(具体的に:)
107.	<input type="checkbox"/>	靴下は痛い。(具体的に:)
108.	<input type="checkbox"/>	ストッキングは締め付けられ、足をかみつかれたように感じるから履かない。(具体的に:)
109.	<input type="checkbox"/>	スニーカーは痛くて歩けないくらい締めつけられる感覚がある。(具体的に:)
110.	<input type="checkbox"/>	低気圧がくるときは空気がいつもよりも重く、全身にずっしりとまとわりつくように感じる。(具体的に:)

3. 温覚・冷覚

111.	<input type="checkbox"/>	外部と自分の身体との温度差に過剰に反応する。(具体的に:)
112.	<input type="checkbox"/>	自分で体温調節をすることができない。(具体的に:)
113.	<input type="checkbox"/>	日光にあたると体がかゆくなりとても不快になる。(具体的に:)
114.	<input type="checkbox"/>	暖房で体が温まると皮膚がかゆくなり不安になる。(具体的に:)
115.	<input type="checkbox"/>	お風呂のお湯が普段より一度上がっていても体がかゆくなる。(具体的に:)
116.	<input type="checkbox"/>	入浴の際、お湯の熱さに慣れるまでしばらく時間がかかる。(具体的に:)
117.	<input type="checkbox"/>	とても熱い砂の上をはだして歩くこともできるし、とても冷たい水の中で泳ぎ続けることもできる。(具体的に:)

4. 痛覚

118.	<input type="checkbox"/>	すり傷、切り傷、打ち身は日常茶飯事だが、気づかない。(具体的に:)
119.	<input type="checkbox"/>	教えてもらうまで痛みを感じたり、痛み気付くことができない。(具体的に:)
120.	<input type="checkbox"/>	大きなけがをしても痛みの感覚がなく、血が流れている感覚で気付く。(具体的に:)

121.	<input type="checkbox"/>	火傷をしたときも、「今ジュっていった？」程度の感覚であり、よく火傷をしていることを忘れてしまう。 (具体的に：))
122.	<input type="checkbox"/>	痛いという感覚がないため、腸閉塞や骨折しているときに自分から訴えるということがなかった。 (具体的に：))
123.	<input type="checkbox"/>	注射をしても注射針が体に刺さっている感じも痛みもあまり感じない。(具体的に：))
124.	<input type="checkbox"/>	蚊にひどく刺されてもかゆみを感じない。(具体的に：))
125.	<input type="checkbox"/>	人の足を踏んでも分からないし、人を押しのけても分からない。(具体的に：))
126.	<input type="checkbox"/>	ほとんど絶え間なく、ぞくぞくと震えるような感覚が、背骨を伝って腰へ降りていく感じに悩まされている。 (具体的に：))
127.	<input type="checkbox"/>	身体のあちこちが常にかゆい。(具体的に：))

5. 物理的距離

128.	<input type="checkbox"/>	人から近寄られるのは好きではない。(具体的に：))
129.	<input type="checkbox"/>	電車で人に挟まれて座るのは耐え難く苦痛である。(具体的に：))
130.	<input type="checkbox"/>	ソファに二人並んで座ることが苦痛である。(具体的に：))
131.	<input type="checkbox"/>	二人で並んで座ることが苦痛なため、助手席に座れない。(具体的に：))
132.	<input type="checkbox"/>	1m以上離れていても、人の横に並んでTVを見ることができない。(具体的に：))
133.	<input type="checkbox"/>	相手の空間に入り込んでいることに気づかずに、相手に近寄りすぎることがある。 (具体的に：))
134.	<input type="checkbox"/>	人と物理的距離感がわからずにおつかってしまう。(具体的に：))
135.	<input type="checkbox"/>	混雑した場所では、人や物をうまくよけられずにおつかったり、足を踏まれたりする。 (具体的に：))

Ⅱ. 皮膚感覚に関する理解・支援チェックリスト

1. 触覚

【能動触：触れること、自分から行う行為】

136.	<input type="checkbox"/>	髪の毛が肌に触れないように、おでこや肩に当たらない場所で縛っている。(具体的に：))
137.	<input type="checkbox"/>	カミソリは苦手だが回転式の電気カミソリなら我慢できる (具体的に：))

1) 化粧品、石けん等

138.	<input type="checkbox"/>	石けんはチクチクするので体を洗うときは天然油 (ティーツリーやホホバ油など) を使う。 (具体的に：))
139.	<input type="checkbox"/>	液状の石鹸なら固形程には痛くはなく使える。(具体的に：))
140.	<input type="checkbox"/>	自然な材料の石鹸を自分で作ったり買ったりして使っている。(具体的に：))

141.	<input type="checkbox"/>	洗濯用の洗剤は炭酸塩（重曹の仲間）入り石けんで、柔軟剤代わりにクエン酸を使用している。 (具体的に：))
142.	<input type="checkbox"/>	化粧水はグリセリンを薄めたものを使い、乾燥しやすい目元口元だけワセリンを塗っている。 (具体的に：))

2) 衣服、装身具

143.	<input type="checkbox"/>	縫い目が針のように感じるので、下着は裏返して着る。縫い合わせがすべて表に出る服がほしい。 (具体的に：))
144.	<input type="checkbox"/>	洋服のタグは外す。タグを外せない物は買わない。 (具体的に：))
145.	<input type="checkbox"/>	ラベルや縫い目が肌をこすり繊維が背中を刺すのを、何かに気を紛らわしたり、自分の思考に集中したりして無視できるように訓練してきた。(具体的に：))
146.	<input type="checkbox"/>	肌着を着て、綿ではない洋服が肌に当たらないようにする。(具体的に：))
147.	<input type="checkbox"/>	顔や手に服を押しあてて手触りを確かめ、痛くない服を買っている。(具体的に：))
148.	<input type="checkbox"/>	下着や上着は同じ素材でいくつかの色や柄で数枚買いそろえている。(具体的に：))
149.	<input type="checkbox"/>	不安なときや孤独なときは、革のジャケットのなめらかな手触り、コートポケットの内側に張られているベすべの裏地など服の感触が慰めになってくれる。(具体的に：))
150.	<input type="checkbox"/>	デニムは不変で心を落ち着かせてくれる。(具体的に：))
151.	<input type="checkbox"/>	アクセサリーは天然石とシルバー、チタンで自分で作る。(具体的に：))
152.	<input type="checkbox"/>	ネックレスやかぎ針編みのカーディガンの網目に指を絡ませると、気持ちが落ち着いて安心する。 (具体的に：))
153.	<input type="checkbox"/>	大きめで緩めの手袋で、指が全部覆われない手袋なら何とかつけられる。(具体的に：))

3) 家庭用繊維製品

154.	<input type="checkbox"/>	ざらざらとしたカーベットは気持ちよい。カーベットの繊維に体をこすられるのが心地良い。 (具体的に：))
155.	<input type="checkbox"/>	ごわごわした絨毯の手触りが好きである。(具体的に：))
156.	<input type="checkbox"/>	シーツのやわらかい感触に足の指をすべらせるのが好きである。 (具体的に：))
157.	<input type="checkbox"/>	ベビー毛布の裏側の洗いざらした柔らかなガーゼが肌に当たる感触は安らぐ。 (具体的に：))
158.	<input type="checkbox"/>	毛布にすっぽり包まれている感触は、体調や気分の悪さから気を紛らわしたり、不安を和らげたり、すり減った神経を休めたり、ピリピリ・イライラした感情をなだめたりする効果がある。 (具体的に：))
159.	<input type="checkbox"/>	寝る時は、何も着ずに好きな肌触りの綿毛布にくるまって寝るのが好きである。 (具体的に：))
160.	<input type="checkbox"/>	好きな感触の毛布やマット、ふわふわのぬいぐるみ等があると安心できる。(具体的に：))

161. はだざわりがとてよく、ふわふわで優しい感じだから、寝袋で寝るのが好きである。
(具体的に：)
162. やわらかな枕にできるだけ深く頭を沈みこませると落ち着く。(具体的に：)

4) その他

163. 汗をかくと痛いので、帰宅するとまずシャワーを浴びる。(具体的に：)
164. おふろは床やマットが濡れる前に入り、バスマットはすぐに水分を吸い取り、濡れた感触のしないものを使用している。(具体的に：)
165. 湿ったタオルで手をふかなくてもよいようにタオルかけには縦2つ折りにしたタオルを2枚掛けている。
(具体的に：)
166. 犬や猫の毛をなでると落ち着く。(具体的に：)
167. 毛皮をなでていると落ち着く。(具体的に：)
168. 手のひらで硬くてざらざらした木肌をなでたり、溝を指先でなぞったりするのが好きである。
(具体的に：)
169. 粘土ほど混じり気がなく、魅力的な手触りを知らない。(具体的に：)
170. 白くてザラザラの敷石をはだして踏みつけて歩くと気持ちがいい。(具体的に：)
171. つるつるの大理石の上をはだして歩くと安心感がある。(具体的に：)
172. 乾電池のつめたくて、すべすべして、手のひらにじっくりおさまる感触が気持ちいい。
(具体的に：)
173. 本の背表紙の溝に指を滑らせると、滑らかでまっすぐで、心を落ち着かせてくれる感触である。
(具体的に：)
174. 外出時のパニックになりそうな時、小さなぬいぐるみをほほに押しつけると落ち着けるので、持ち歩いている。
(具体的に：)
175. いつもポケットに何か滑らかなものを入れておいて、何かあれば指を走らせ、安心感を得られるようにしている。
(具体的に：)
176. カーブしたものを指でなぞると安心する。(具体的に：)

【受動触…触られること、他者からされる行為】

177. 頭をなでられると落ち着く。(具体的に：)
178. フラッシュバックになったとき、背中をさすってもらえると安心できる。(具体的に：)
179. 動揺しているときに、手をつないで励ましてもらえると安心できる。(具体的に：)
180. お医者さんの診察では、診察のために触れると説明されれば、その場は耐えられる。
(具体的に：)
181. 相手の動きを予測できるようになり、触られるとわかるようになったため、触られても驚かずに済む。
(具体的に：)
182. 自分の子どもにべたべた甘えられることで、触られることの不快が緩和された。
(具体的に：)

183.	<input type="checkbox"/> そっと抱 <small>だ</small> いてもらうことが、どん <small>くすり</small> な薬やセラピーより、何 <small>なに</small> よりも役 <small>やく</small> に立 <small>た</small> ってくれる。 (具体的 <small>ぐたいてき</small> に：))
184.	<input type="checkbox"/> きゅーと静 <small>しず</small> かに抱 <small>だ</small> きしめられると安心 <small>あんしん</small> する。長 <small>なが</small> くやるとより安心 <small>あんしん</small> する。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
185.	<input type="checkbox"/> 前 <small>まえ</small> からきつく抱 <small>だ</small> きしめてほしい。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
186.	<input type="checkbox"/> 抱 <small>だ</small> っこ法 <small>ほう</small> (抱 <small>だ</small> っこされてきつく抱 <small>だ</small> きしめられる) を始 <small>はじ</small> めて、気持 <small>きも</small> ちが楽 <small>らく</small> になった。 (具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)

2. 圧覚あつかく

187.	<input type="checkbox"/> 身体 <small>からだ</small> に均等 <small>きんとう</small> の圧力 <small>あつりょく</small> を加 <small>くわ</small> えられると安心 <small>あんしん</small> できる。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
188.	<input type="checkbox"/> 分厚 <small>ぶんあつ</small> いものにはさまれていると安心 <small>あんしん</small> する。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
189.	<input type="checkbox"/> 毛布 <small>もうふ</small> にくるまったりマットレスの下 <small>した</small> にもぐったり、ソファのクッションの下 <small>した</small> にもぐりこんだときの圧迫 <small>あつぱく</small> が心地 <small>こち</small> よい。 (具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
190.	<input type="checkbox"/> シーツで身体 <small>からだ</small> を包 <small>つつ</small> むと、自分 <small>じぶん</small> の身体 <small>からだ</small> を感じ <small>かん</small> られて楽 <small>たの</small> しく、落 <small>お</small> ち着 <small>つ</small> ける。 (具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
191.	<input type="checkbox"/> 寝 <small>ね</small> るときは、掛 <small>か</small> け布団 <small>ぶとん</small> にくるまって、すっきりうもれて寝 <small>ね</small> ている。 (具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
192.	<input type="checkbox"/> 夜 <small>よる</small> はベッ <small>べ</small> ットのシ <small>し</small> ーツと毛布 <small>もうふ</small> を、か <small>か</small> ちり <small>ちり</small> とマ <small>ま</small> ットレ <small>れ</small> スの下 <small>した</small> にたくし込 <small>こ</small> んで寝 <small>ね</small> る。 (具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
193.	<input type="checkbox"/> 布団 <small>ぶとん</small> は重 <small>おも</small> たいほうが好きである。羽毛 <small>うもう</small> 布団 <small>ぶとん</small> のような軽 <small>かろ</small> い布団 <small>ぶとん</small> は嫌 <small>いや</small> である。 (具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
194.	<input type="checkbox"/> 帽 <small>ぼう</small> 子の素 <small>そ</small> 材 <small>ざい</small> に頭 <small>あたま</small> も顔 <small>かお</small> もび <small>び</small> っちり包 <small>つつ</small> まれていると、常 <small>つね</small> にきつい圧迫 <small>あつぱく</small> 感 <small>かん</small> があ <small>あ</small> って安心 <small>あんしん</small> する。 (具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
195.	<input type="checkbox"/> ター <small>た</small> ートル <small>とる</small> ネ <small>ね</small> ックのシ <small>し</small> ャ <small>つ</small> ツから受 <small>う</small> けるフ <small>ふ</small> ィ <small>い</small> ット感 <small>かん</small> は心 <small>こ</small> ち <small>ち</small> よ <small>よ</small> い。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
196.	<input type="checkbox"/> きついバ <small>ば</small> ンドの腕 <small>うで</small> 時計 <small>どけい</small> の圧迫 <small>あつぱく</small> が <small>おお</small> きな治 <small>ち</small> 療 <small>りょう</small> 効 <small>こう</small> 果 <small>か</small> を <small>は</small> き <small>つ</small> けてくれる。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
197.	<input type="checkbox"/> ズボ <small>ず</small> ンのベ <small>べ</small> ルトをきつく締 <small>し</small> め、小 <small>ちい</small> さめ <small>め</small> の靴 <small>くつ</small> をは <small>は</small> いている。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
198.	<input type="checkbox"/> カチ <small>か</small> ツ <small>つ</small> とした服 <small>ふく</small> を着 <small>き</small> ていると、自分 <small>じぶん</small> の体 <small>からだ</small> がわ <small>わ</small> かる。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
199.	<input type="checkbox"/> 手 <small>て</small> や足 <small>あし</small> は感 <small>かん</small> 覚 <small>かく</small> がないけれど、圧 <small>あつ</small> を受 <small>う</small> けると両手 <small>りょうて</small> 両足 <small>りょうあし</small> の存在 <small>そんざい</small> を感じ <small>かん</small> ずる。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
200.	<input type="checkbox"/> 低 <small>てい</small> ウ <small>う</small> レ <small>れ</small> タ <small>た</small> ンク <small>ん</small> ク <small>く</small> シ <small>し</small> ョ <small>ょ</small> ン <small>ん</small> を握 <small>にぎ</small> っていると手 <small>て</small> のひら <small>ら</small> に返 <small>かえ</small> ってくる刺 <small>し</small> げ <small>げ</small> き <small>き</small> のお <small>お</small> かげで、ス <small>す</small> ト <small>と</small> レ <small>れ</small> ス <small>す</small> が解 <small>かい</small> 消 <small>しょう</small> される。 (具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
201.	<input type="checkbox"/> 弾 <small>だん</small> 力 <small>りょく</small> のあるボ <small>ぼ</small> ールを握 <small>にぎ</small> るとイ <small>い</small> ラ <small>ら</small> イ <small>ら</small> が解 <small>かい</small> 消 <small>しょう</small> できる。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
202.	<input type="checkbox"/> 整 <small>せい</small> 体 <small>たい</small> や鍼 <small>はり</small> 、温 <small>おん</small> 熱 <small>ねつ</small> 療 <small>りょう</small> 法 <small>ほう</small> は私 <small>わたし</small> の感 <small>かん</small> 覚 <small>かく</small> を肯 <small>こう</small> 定 <small>てい</small> する方 <small>ほう</small> に働 <small>はたら</small> いた。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
203.	<input type="checkbox"/> マ <small>ま</small> ッ <small>っ</small> サ <small>さ</small> ー <small>じ</small> は緊 <small>きん</small> 張 <small>ちやう</small> がとけ、リ <small>り</small> ラ <small>ら</small> ク <small>く</small> ス <small>す</small> できる。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)

3. 温覚おんかく・冷覚れいかく

204.	<input type="checkbox"/> 体 <small>たい</small> 温 <small>おん</small> 調 <small>ちよう</small> 節 <small>せつ</small> が苦 <small>にが</small> 手 <small>て</small> なため、衣 <small>い</small> 服 <small>ふく</small> で温 <small>おん</small> 度 <small>ど</small> 調 <small>ちよう</small> 節 <small>せつ</small> を <small>し</small> て <small>い</small> る。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)
205.	<input type="checkbox"/> 外 <small>そと</small> に出 <small>で</small> ただけで気 <small>き</small> 温 <small>おん</small> がほ <small>ほ</small> ぼ正 <small>せい</small> 確 <small>かく</small> に分 <small>わ</small> かる。(具体的 <small>ぐたいてき</small> に：)

- | |
|---|
| 206. <input type="checkbox"/> 熱いお湯は痛いけれど体に心地よい効果をもたらす。(具体的に：) |
| 207. <input type="checkbox"/> 手や足は感覚がないけれど、熱を受けると両手両足の存在を感じる。(具体的に：) |

4. 痛覚

- | |
|---|
| 208. <input type="checkbox"/> 痛みを感じにくいからか、虫菌の治療で歯を削る時も、麻酔をせずにできる。
(具体的に：) |
|---|

5. 物理的距離

- | |
|--|
| 209. <input type="checkbox"/> 列に並ぶときには十分な間隔をとってほしい。(具体的に：) |
| 210. <input type="checkbox"/> 体に触れる前にはあらかじめ声をかけてほしい。(具体的に：) |
| 211. <input type="checkbox"/> 他の人とどのくらい距離をあければ失礼にあたらないか教えてほしい。
(具体的に：) |

ご協力、誠にありがとうございました。

発達障害者の「皮膚感覚」の困難・ニーズに関する研究

—— 発達障害の本人調査から ——

Study on Difficulties and Support Needs of Cutaneous Sensation of Persons with Developmental Disabilities from View Point of Survey of Persons with Developmental Disabilities

笹ヶ瀬 菜生*・田部 絢子**・高橋 智***

Nao SASAGASE, Ayako TABE and Satoru TAKAHASHI

特別ニーズ教育分野

Abstract

This study clarified the difficulties and support needs of cutaneous sensation from view point of survey of persons with developmental disabilities. Period of survey was from November 2012 to January 2013, responses were received from 124 persons with developmental disabilities (male: 93, female: 31, asperger syndrome: 36, high-function autism: 15, other pervasive developmental disabilities: 37, learning disabilities: 15, attention deficit / hyperactivity disorder: 20, mild intellectual disabilities: 19 and the others: 14. These were containing multiple responses in the case multiple disabilities) and 113 students of Tokyo Gakugei University (male: 28, female: 86).

It was clarified that persons with developmental disabilities feel discomfort still more sensitive at, these were usually discomfort, “wet cloths” “prickling cloths” and so on, and clarified that they feel discomfort at what were not discomfort in usual condition such as “hair”. Actually, it was clarified that obtaining a sense of safety by selection with the texture or by comfortable stimulus and obtaining stimulus of pressure, to avoid or mitigate those difficulties, had the effects of relief the somatic symptom.

In this survey, it was clarified that persons with developmental disabilities had both difficulties, in cutaneous sensation, due to sensitiveness and due to dullness in response. Cutaneous sensation has “defensive effect” what protect the body from outside and “recognizing effect” what identify the subject by the touch. Retardation in development of tactile sense cause the difficulty on discrimination by the touch, and on the other hand, it is inferred that the defensive effect got intense. It is important that children with developmental difficulties on cutaneous sensation need not extortion the obnoxious stimulus but environmental setting that has comfortable and various tactile information.

Keywords: Developmental Disabilities, Difficulties and Support Needs of Cutaneous Sensation, Survey from View Point of Persons with Developmental Disabilities

Department of Special Needs Education, Tokyo Gakugei University, 4-1-1 Nukuikita-machi, Koganei-shi, Tokyo 184-8501, Japan

* Hamamatsu City Aritama Elementary School

** Ph.D.,Lecturer, Osaka University of Health and Sport Sciences

*** Tokyo Gakugei University (4-1-1 Nukuikita-machi, Koganei-shi, Tokyo, 184-8501, Japan)

要旨: 本稿では、発達障害を有する本人への調査を通して、発達障害の本人が有する皮膚感覚に関する多様な困難・ニーズの実態や発達障害の本人が求めている支援を明らかにしてきた。

調査期間は2012年11月～2013年1月。発達障害の本人124名（男性93名，女性31名），東京学芸大学の学生113名（男性28名，女性86名）から回答を得た。発達障害の本人の障害の内訳（重複の場合を含み複数回答あり）は，アスペルガー症候群36名，高機能自閉症15名，その他の広汎性発達障害37名，LD15名，ADHD20名，軽度の知的障害19名，その他14名である。

「濡れた服」「チクチクした服」など通常でも不快に感じる場合があるものはより顕著に敏感に不快さを感じ、「髪の毛」など通常ならばあまり不快さを感じないほどの刺激においても大きな不快を感じていることが明らかになった。実際，これらの困難を回避または緩和するために，肌触りでものを選ぶことや快いと感じる触刺激により安心感を得たり，圧刺激を得ることが身体の症状を落ち着かせる効果があることも明らかとなった。

今回の調査を通して，皮膚感覚において，通常よりも刺激を敏感に感じとり困難を抱えている一方，触覚の低反応から生じる困難を抱えていることが浮かび上がってきた。触覚には外界から自分の身体を守る「防衛的な反応」と，触った質感でこれは何かと分かる「識別的な反応」がある。触覚が発達していないと触覚で識別することができない一方で，防衛的な反応が強くなっていることが推察される。皮膚感覚において発達した困難を有する子どもには，苦手な刺激を強要するのではなく，楽しく多様な触覚情報に触れることのできる環境設定を行うことが必要である。

キーワード: 発達障害，皮膚感覚の困難・ニーズ，当事者調査